

Ⅲ 調査テーマによる分析

Ⅲ 調査テーマによる分析

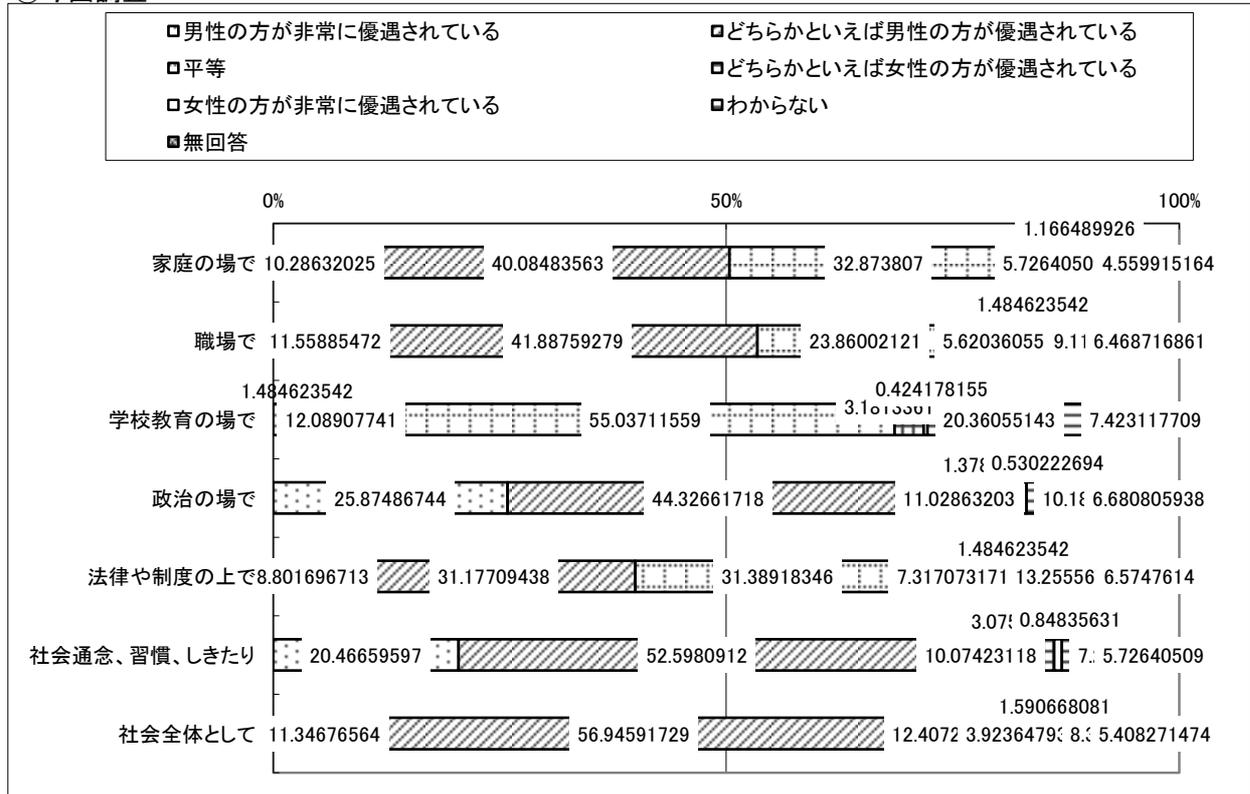
1 男女平等について

問1 あなたは今の社会で、次のような各分野で男女の地位が平等になっていると思いますか。
 次の①～⑦の項目ごとに1～6の中から1つずつ選んで○をつけてください。
 (N=943 男性=416 女性=527)

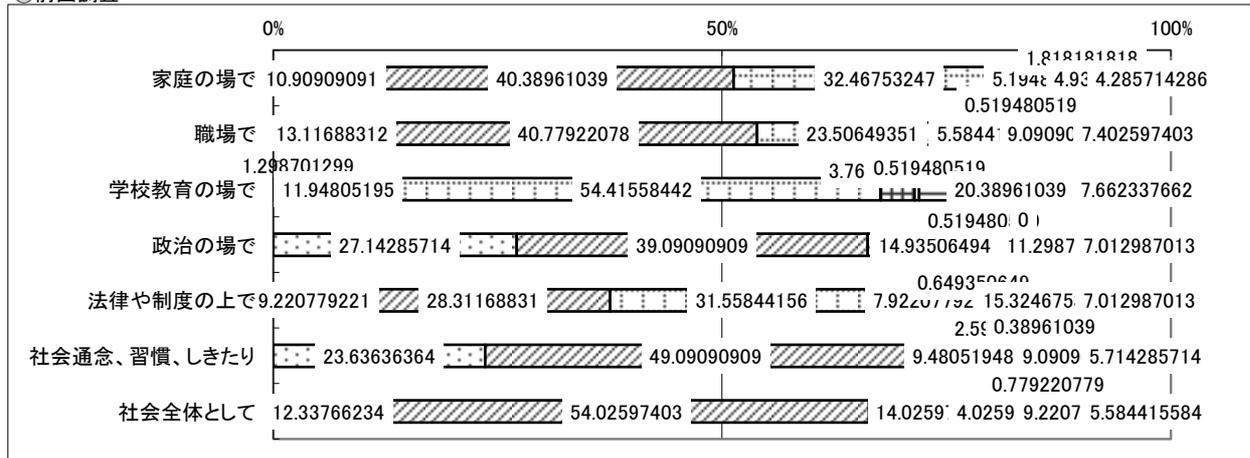
※「男性の方が非常に優遇されている」または「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と回答したグループを『男性が優遇されている』、「女性の方が非常に優遇されている」または「どちらかといえば女性の方が優遇されている」と回答したグループを『女性が優遇されている』とする。

男女平等について、全体をみると『男性が優遇されている』と回答したものが少ないのは「学校教育の場で」(13.6%)と「法律や制度の上で」(40.0%)である。それ以外の分野においてはすべて『男性が優遇されている』と回答したものが多く、これは前回調査と同様の傾向である。
 前回調査と比較すると、「政治の場で」『男性が優遇されている』と回答したもの(70.2%)は、前回調査(66.2%)より4ポイント増加している。
 「職場で」『男性が優遇されている』と回答したもの(53.5%)は、前回調査(53.9%)よりも0.4ポイント減少した。
 「社会全体として」『男性が優遇されている』と回答したものは68.2%で、前回調査より1.9ポイント増加した。

①今回調査



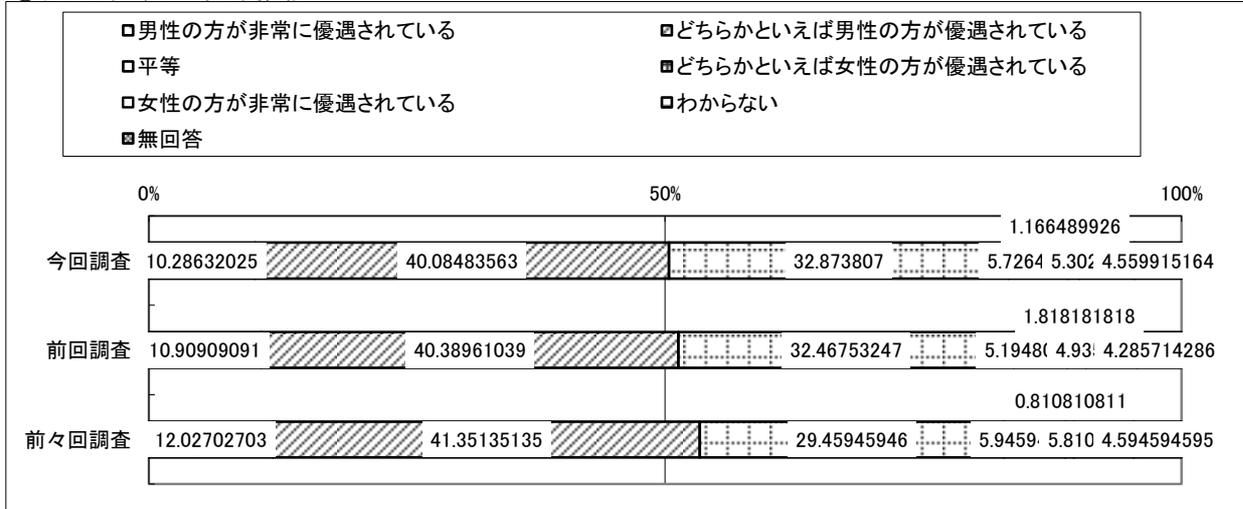
②前回調査



(1)家庭の場で

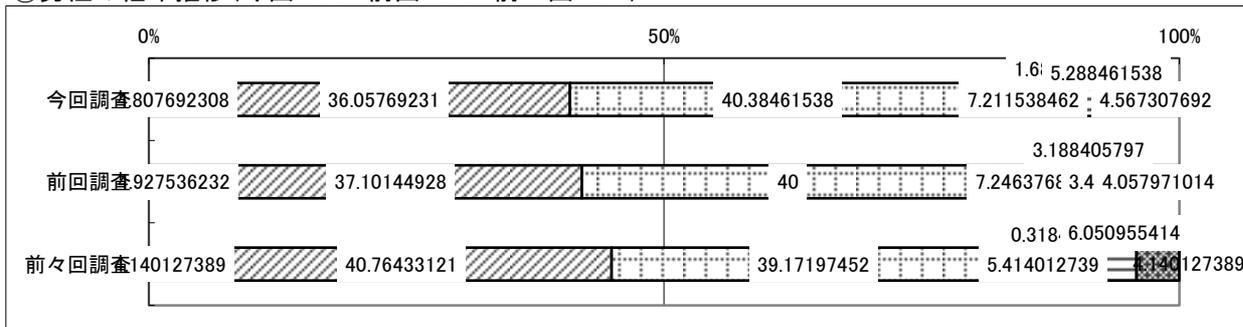
家庭の場で『男性が優遇されている』と回答したものは50.4%、『女性が優遇されている』と回答したものは6.9%である。
 『男性が優遇されている』(50.4%)と回答したものは、前回調査(51.3%)より0.9ポイントとわずかに減少した。前回調査においても減少しており、減少傾向で推移しているといえる。
 「平等」と回答したものは32.9%であり、前回調査より0.4ポイント増加した。

①合計(総数)の経年推移

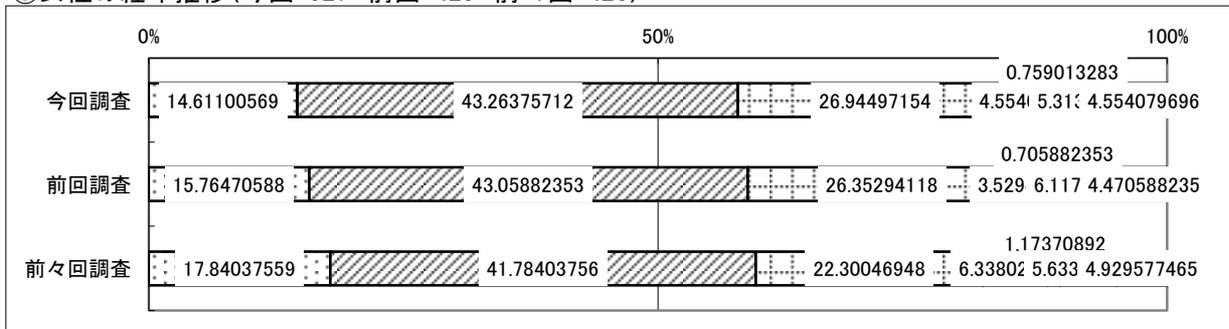


男女別にみると、男性で『男性が優遇されている』と回答したものは40.9%である。
 前回調査(42.0%)より1.1ポイント減少、前々回調査(44.9%)より4ポイント減少しており、減少傾向で推移している。
 女性で『男性が優遇されている』と回答したものは57.9%である。
 前回調査(58.9%)より1ポイント減少、前々回調査(59.6%)より1.7ポイント減少しており、減少傾向であると

②男性の経年推移(今回=416 前回=345 前々回=314)

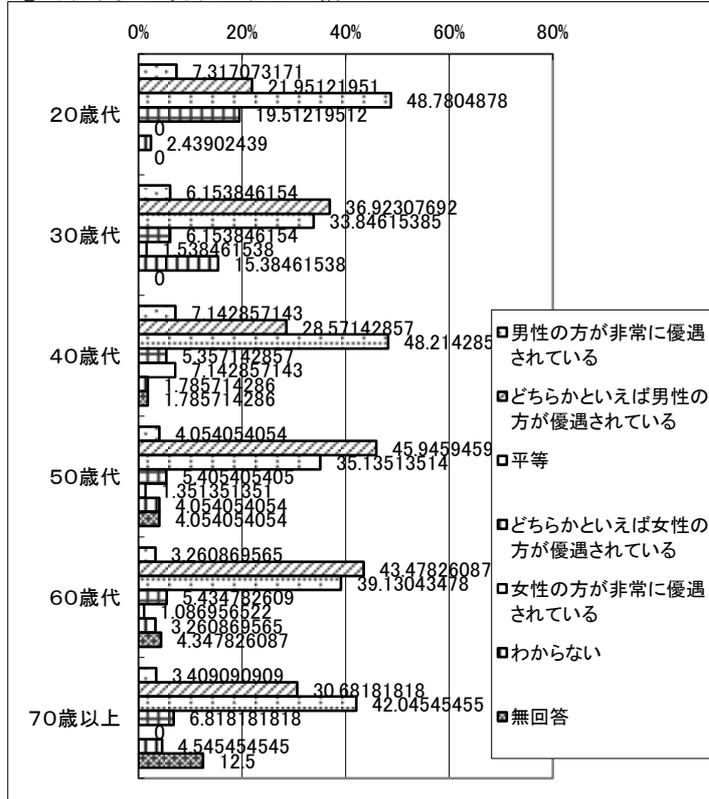


③女性の経年推移(今回=527 前回=425 前々回=426)

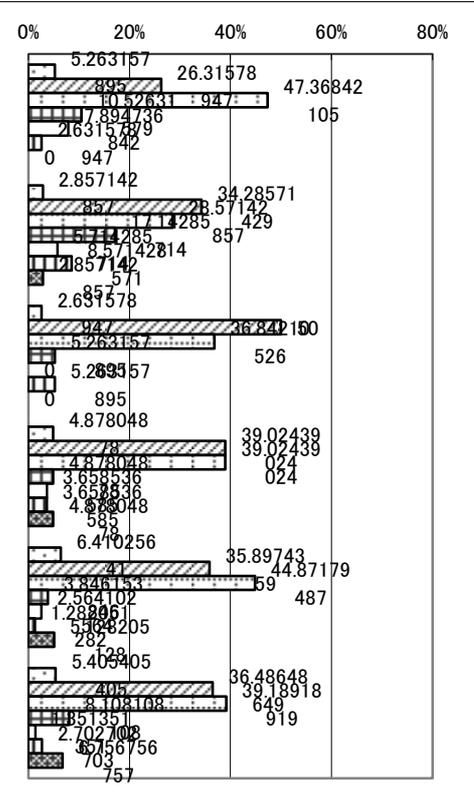


性別・年代別に見ると、男性で『男性が優遇されている』と回答したものが最も多いのは「50歳代」(50.0%)であり、次いで「60歳代」(46.8%)、「30歳代」(43.1%)と続く。
 前回調査と比較して最も差が大きかったのは「40歳代」(35.7%)であり、前回調査より16.9ポイントと大幅に減少している。
 女性で『男性が優遇されている』と回答したものが最も多いのは「50歳代」(69.2%)であり、次いで「60歳代」(65.9%)、「40歳代」(62.3%)と続く。
 「平等」と回答した年代が最も多いのは、男女共に「20歳代」である。

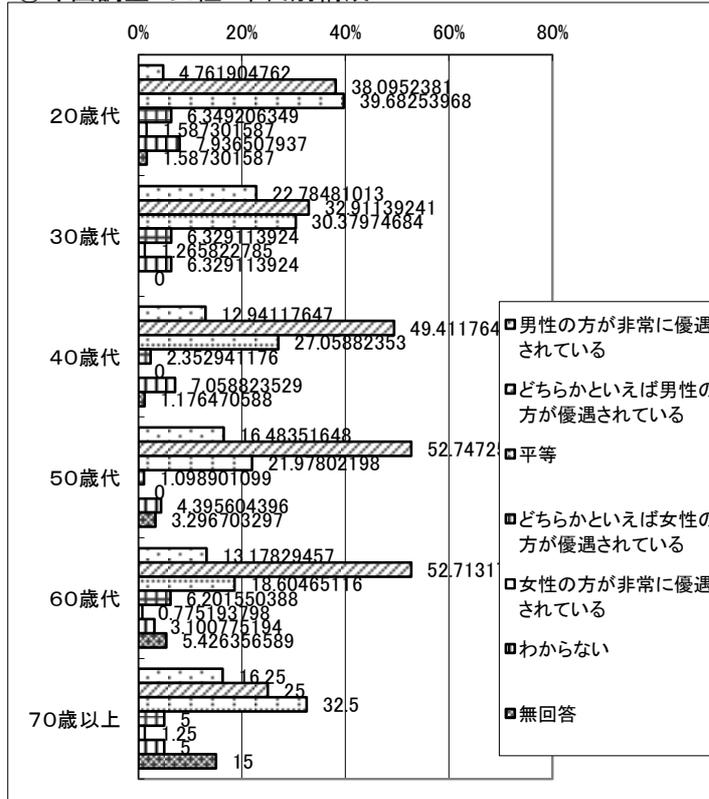
④今回調査 男性・年代別構成



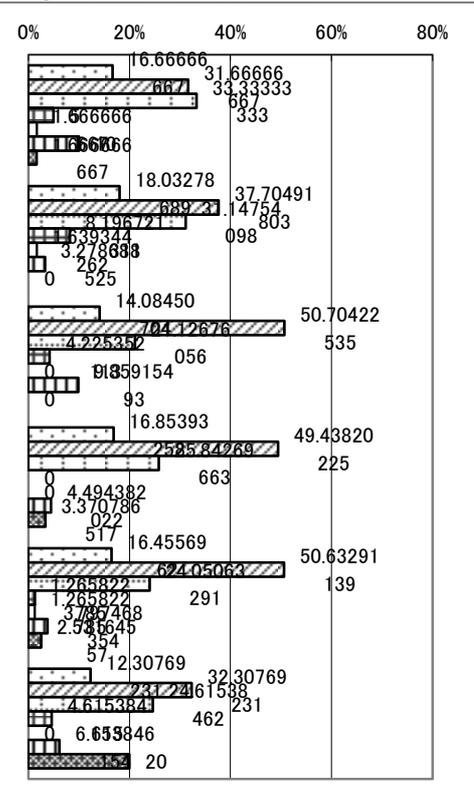
⑤前回調査 男性・年代別構成



⑥今回調査 女性・年代別構成

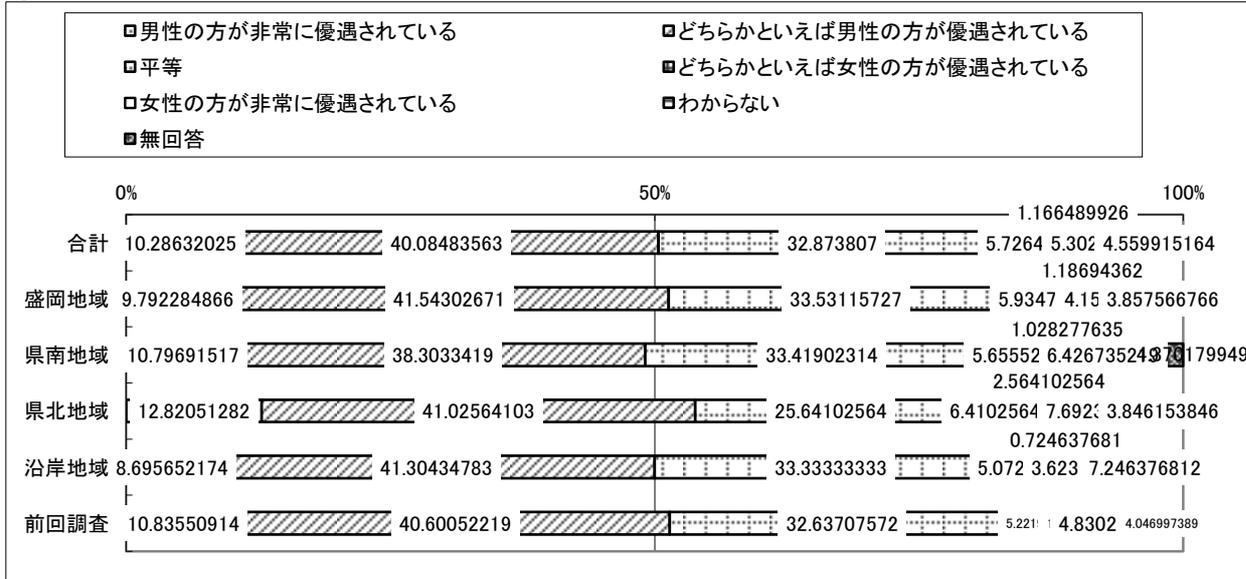


⑦前回調査 女性・年代別構成



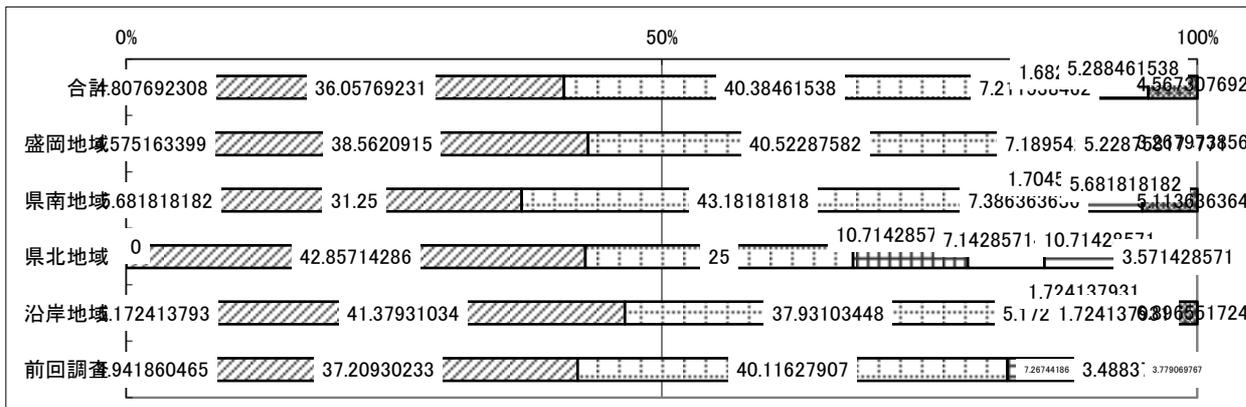
地域別にみると、県南地域を除く全ての地域において『男性が優遇されている』と回答したものが多く、最も多かったのは県北地域(53.8%)である。
『男性が優遇されている』と回答した県南地域(49.1%)では、前回調査(52.3%)より3.2ポイント減少している。
沿岸地域(50.0%)では、前回調査(48.7%)より1.3ポイント増加した。

⑧今回調査 地域別による構成

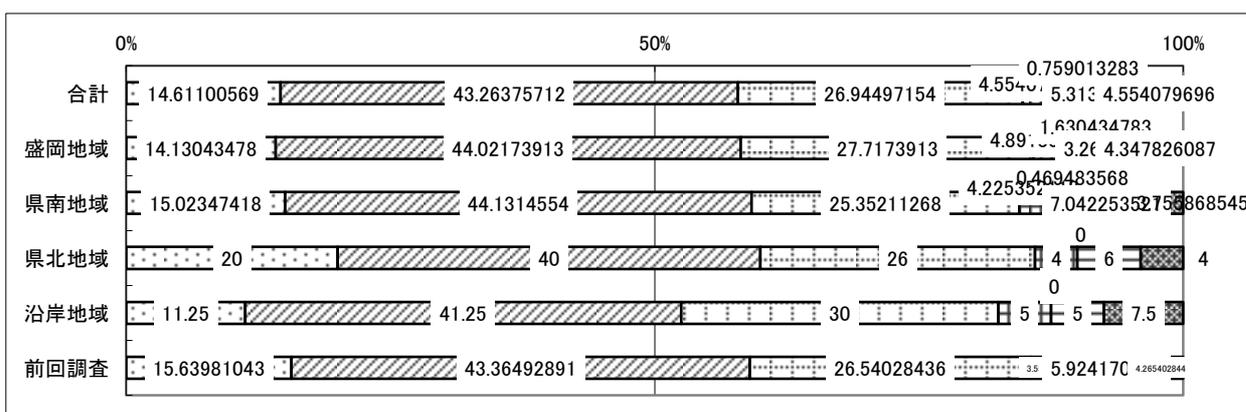


地域別・男女別にみると、男性で『男性が優遇されている』と回答したものが多かった地域は沿岸地域(46.6%)である。
県北地域においては、男性で『男性の方が非常に優遇されている』と回答したものは無かった。
女性で『男性が優遇されている』と回答したものが多かった地域は県北地域(60.0%)である。
これは前回調査(48.5%)より11.5ポイントと大きく増加している。

⑨今回調査 男性の地域別構成



⑩今回調査 女性の地域別構成



(2)職場で

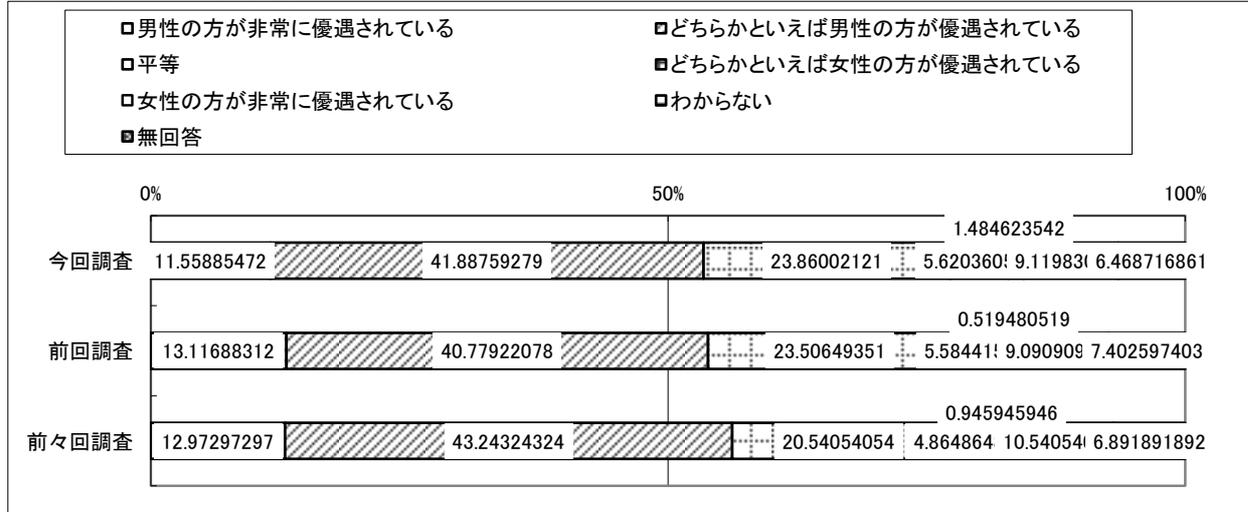
職場で『男性が優遇されている』と回答したものは53.5%、『女性が優遇されている』と回答したものは7.1%である。

『男性が優遇されている』(53.5%)と回答したものは、前回調査(53.9%)より0.4ポイントとわずかに減少した。前々回調査においても減少しており、減少傾向で推移しているといえる。

「平等」と回答したものは23.9%であり、前回調査より0.4ポイント増加した。

『女性が優遇されている』(7.1%)と回答したものは前回調査(6.1%)より1ポイント増加した。

①合計(総数)の経年推移



男女別にみると、男性で『男性が優遇されている』と回答したものは50.9%である。

前回調査(54.2%)より3.3ポイント減少している。

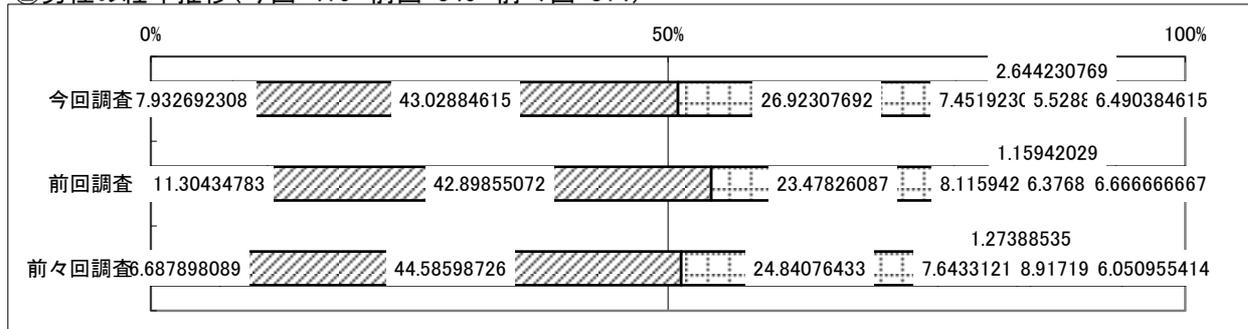
「平等」と回答したものは26.9%であり、前回調査より3.4ポイント増加した。

女性で『男性が優遇されている』と回答したものは55.4%である。

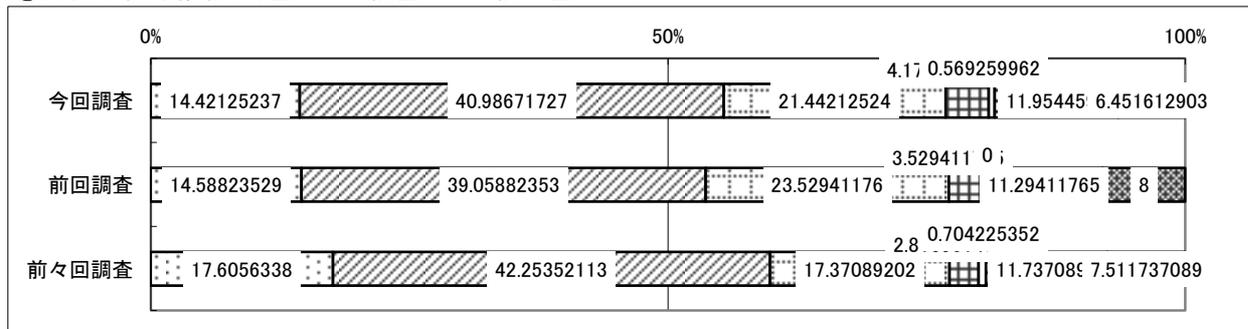
前回調査(53.7%)より1.7ポイント増加している。

「平等」と回答したものは、男性(26.9%)と女性(21.4%)では、男性の方が5.5ポイント多く、男女による差異があらわれている。

②男性の経年推移(今回=416 前回=345 前々回=314)

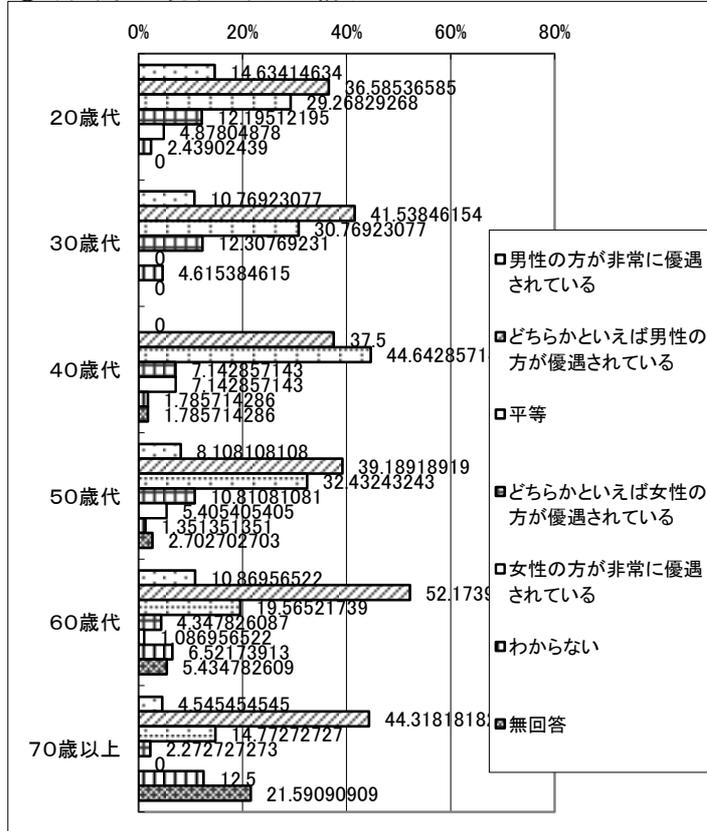


③女性の経年推移(今回=527 前回=425 前々回=426)

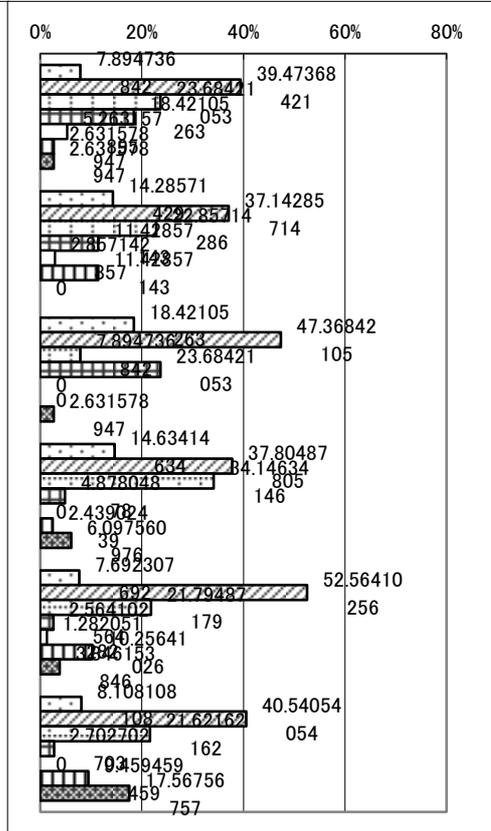


性別・年代別に見ると、男性で『男性が優遇されている』と回答したものが最も多いのは「60歳代」(63.1%)であり、次いで「30歳代」(52.3%)、「20歳代」(51.2%)と続く。「40歳代」で『男性の方が非常に優遇されている』と回答したものはなかった。前回調査と比較して最も差が大きかったのは「40歳代」(37.5%)であり、前回調査(65.8%)より28.3ポイントと大幅に減少している。女性で『男性が優遇されている』と回答したものが最も多いのは「60歳代」(63.6%)であり、次いで「50歳代」(58.3%)、「30歳代」(56.9%)と続く。『男性が優遇されている』と回答したもので、年代別で最も男女差が大きかったのは「40歳代」である。男性(37.5%)と女性(50.5%)では、女性の方が13ポイント多かった。

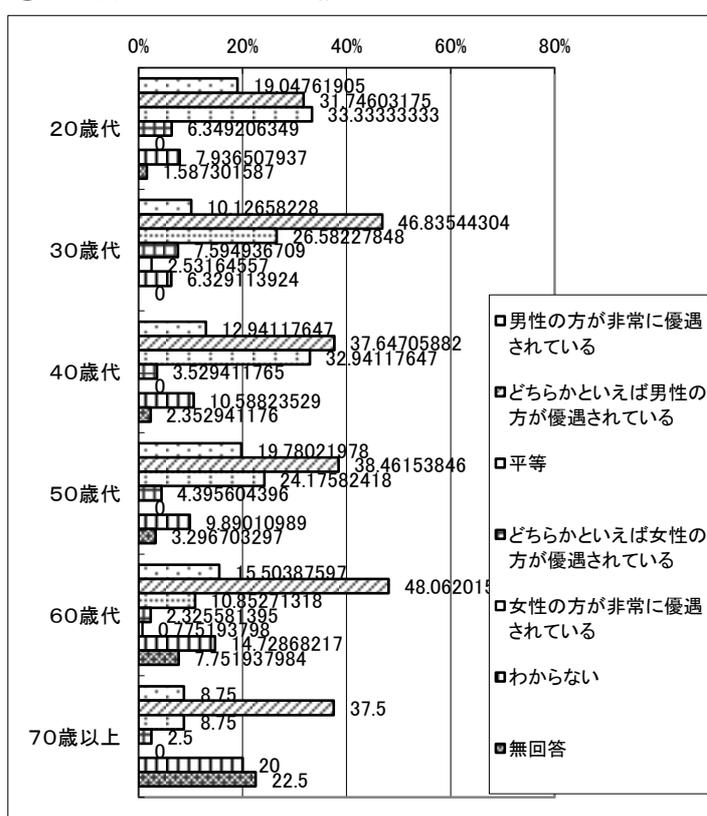
④今回調査 男性・年代別構成



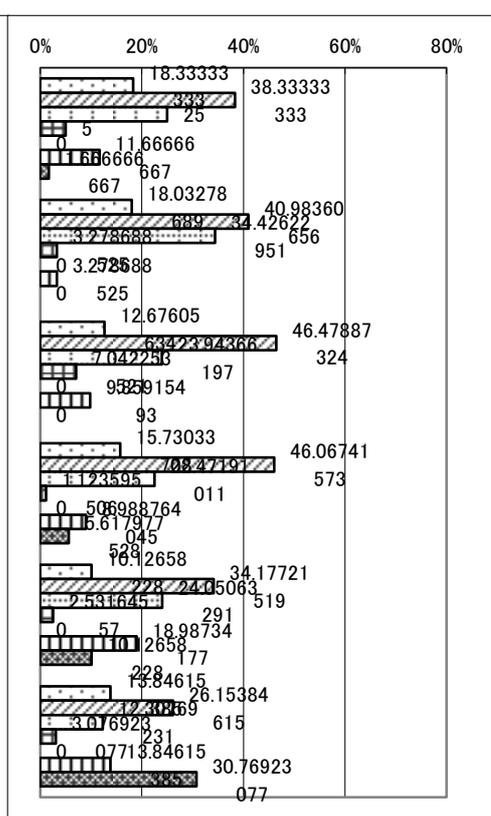
⑤前回調査 男性・年代別構成



⑥今回調査 女性・年代別構成

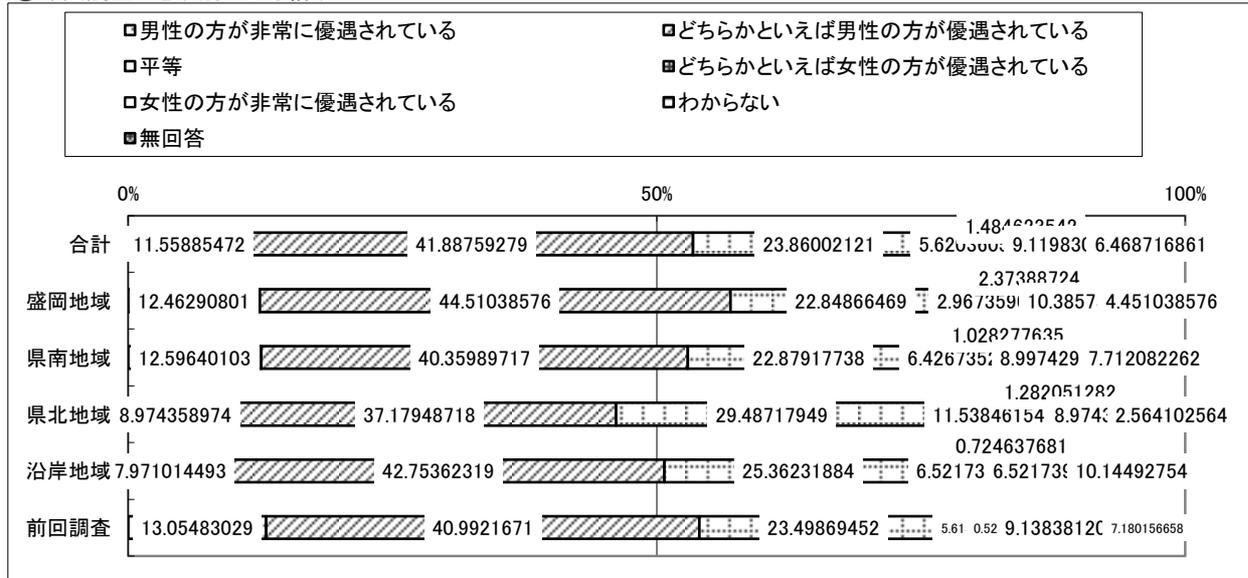


⑦前回調査 女性・年代別構成



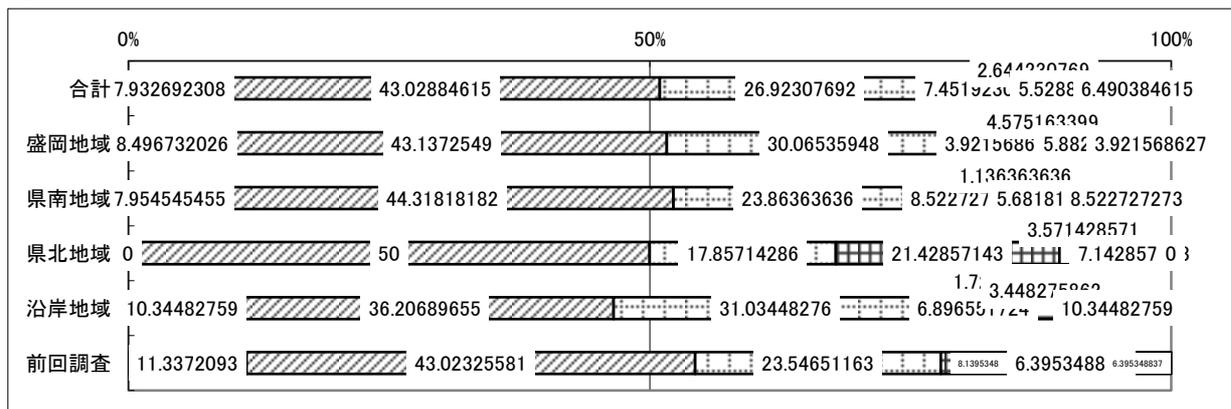
地域別にみると『男性が優遇されている』と回答したものが最も多かったのは「盛岡地域」(57.0%)であり、次いで「県南地域」(53.0%)、「沿岸地域」(50.8%)と続く。「県北地域」(46.2%)では半数を下回っており、前回調査と同様の傾向にある。「平等」と回答したものが最も多かったのは「県北地域」(29.5%)であり、最も少なかった「盛岡地域」(22.8%)となっている。

⑧今回調査 地域別による構成

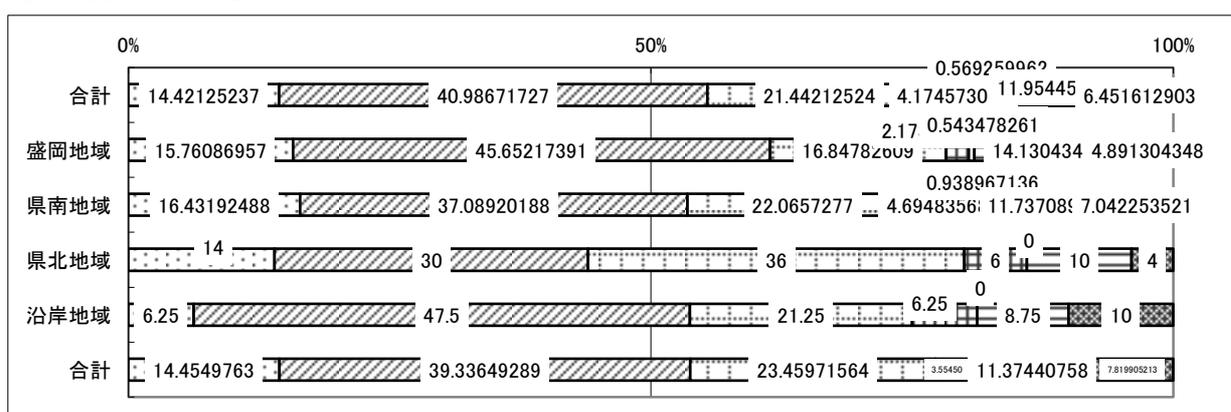


地域別・男女別にみると、『男性が優遇されている』と回答したもので最も差が大きかった地域は、「盛岡地域」であり、男性(51.6%)と女性(61.5%)では女性の方が9.9ポイント多い。最も差が小さかった地域は「県南地域」であり、男性(52.3%)と女性(53.5%)では、1.2ポイント女性の方が多い。「県北地域」で「男性の方が非常に優遇されている」と回答した男性はいなかったが、女性は14.0%が「男性の方が非常に優遇されている」と回答している。

⑨今回調査 男性の地域別構成



⑩今回調査 女性の地域別構成



(3) 学校教育の場で

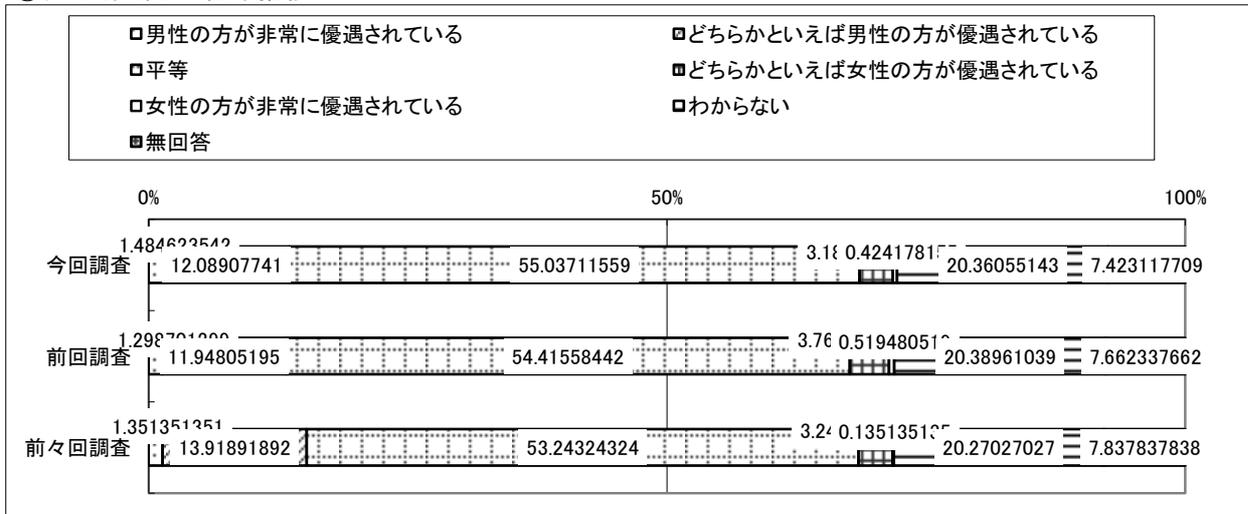
学校教育の場で『男性が優遇されている』と回答したものは13.6%、『女性が優遇されている』と回答したものは3.6%である。

前回調査(13.2%)、前々回調査(15.3%)と比較すると、減少傾向で推移していると考えられる。

また、「平等」と回答したものは55.0%であり、前回調査より0.6ポイント増加した。

前回調査(54.4%)、前々回調査(53.2%)と比較すると、「平等」と回答したものはわずかず増加しており、

① 合計(総数)の経年推移



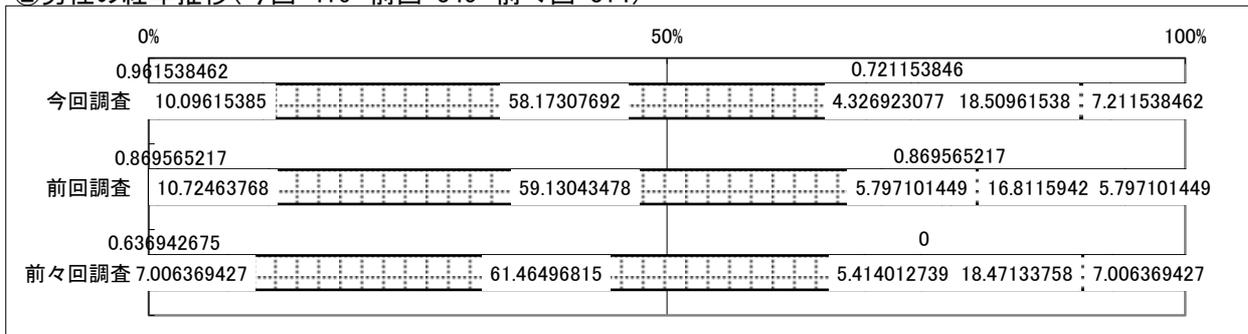
男女別にみると、『男性が優遇されている』と回答した男性は11.1%、女性は15.6%である。

前回調査と比較すると、男性は0.5ポイント減少したが、女性は1.1ポイント増加している。

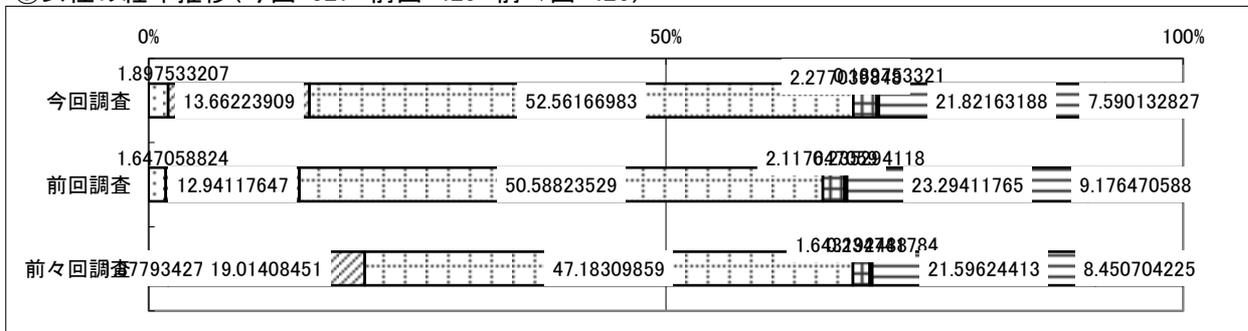
「平等」と回答した男性は前々回調査61.5%、前回調査59.1%、今回調査58.2%と減少傾向にあるが、

女性は前々回調査47.2%、前回調査50.6%、今回調査52.6%と増加傾向にある。

② 男性の経年推移(今回=416 前回=345 前々回=314)

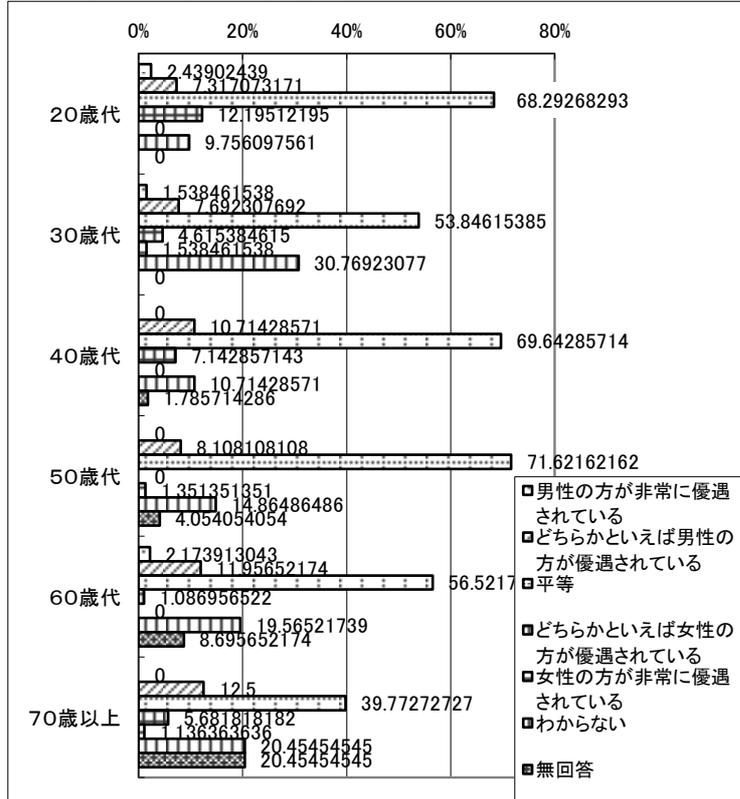


③ 女性の経年推移(今回=527 前回=425 前々回=426)

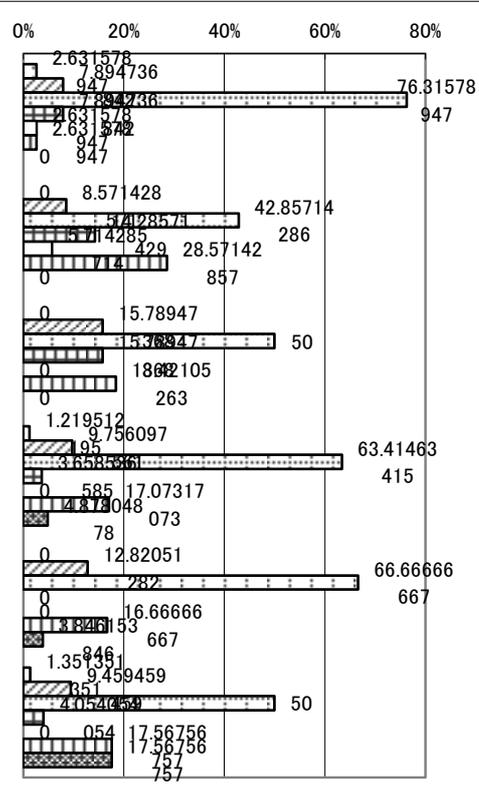


性別・年代別に見ると、『男性が優遇されている』と回答した男性は「60歳代」(14.2%)であり、次いで「70歳以上」(12.5%)である。女性は「50歳代」(18.7%)であり、次いで「60歳代」(18.6%)であった。
 男女差が最もあった年代は「50歳代」であり、『男性が優遇されている』と回答した男性(8.1%)と女性(18.7%)では、女性の方が10.6ポイント多い。
 男性で「平等」と回答したものが最も多いのは「50歳代」(71.6%)であり、次いで「40歳代」(69.6%)、「20歳代」(68.3%)と続く。
 女性では「40歳代」(74.1%)が最も多く、次いで「20歳代」(66.7%)、「30歳代」(59.5%)と続く。

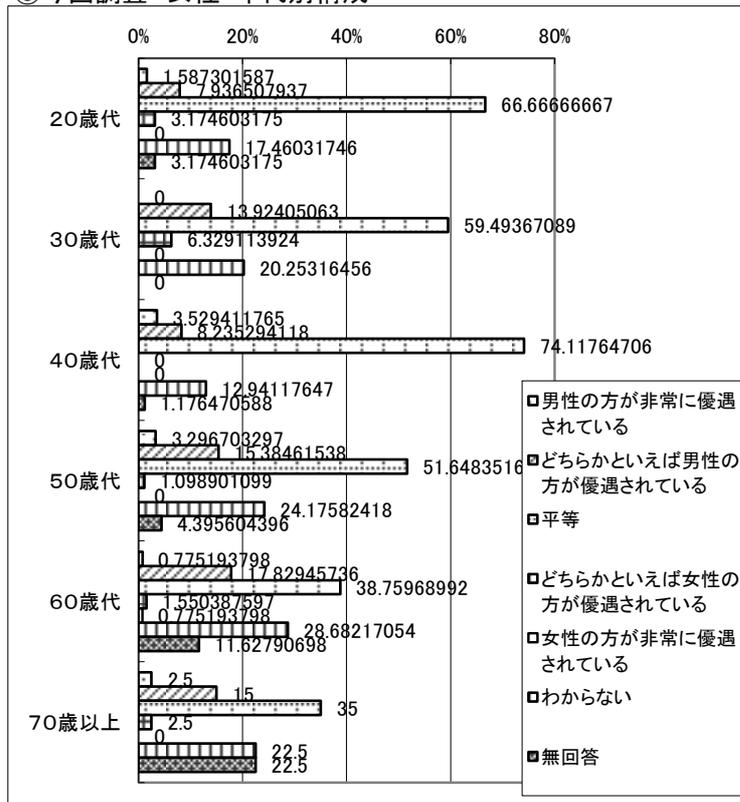
④今回調査 男性・年代別構成



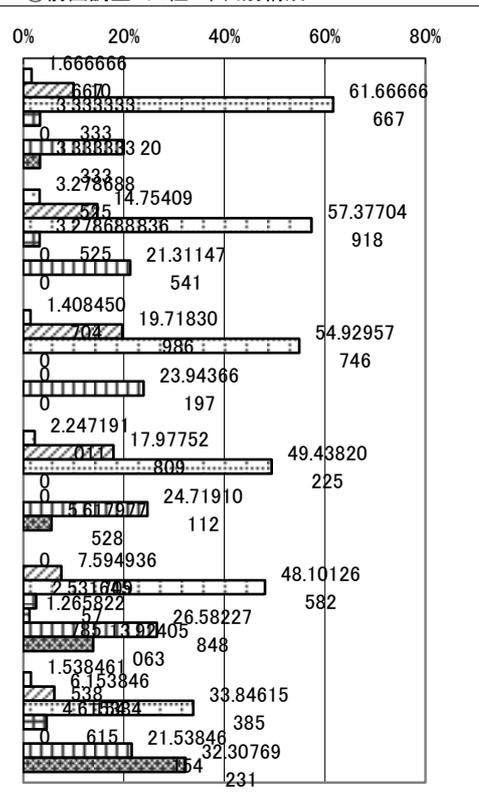
⑤前回調査 男性・年代別構成



⑥今回調査 女性・年代別構成

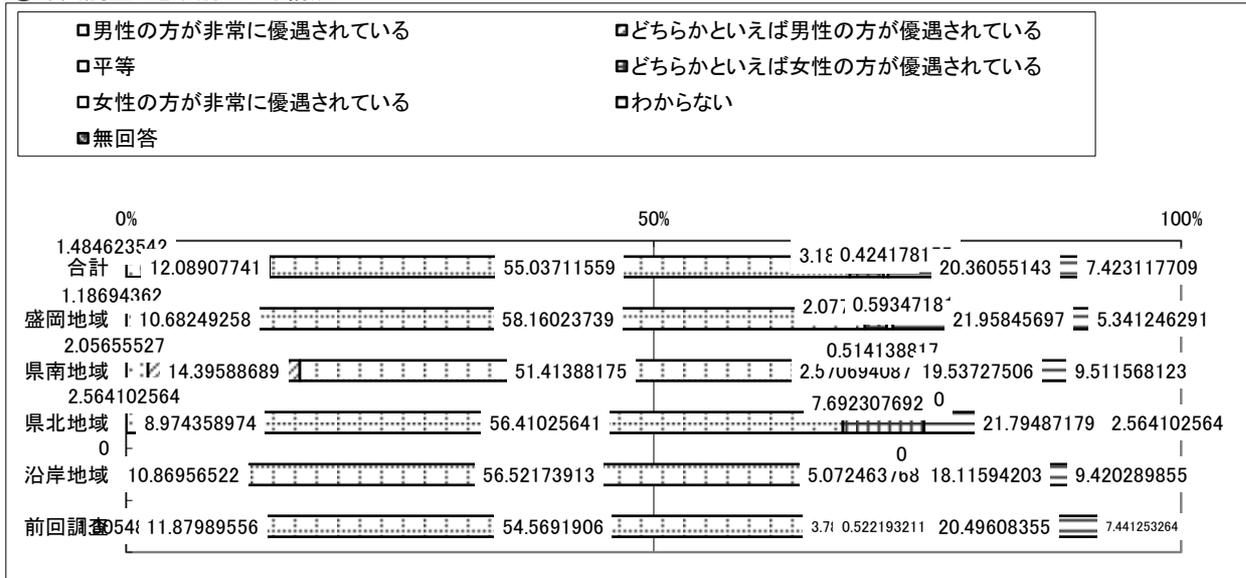


⑦前回調査 女性・年代別構成



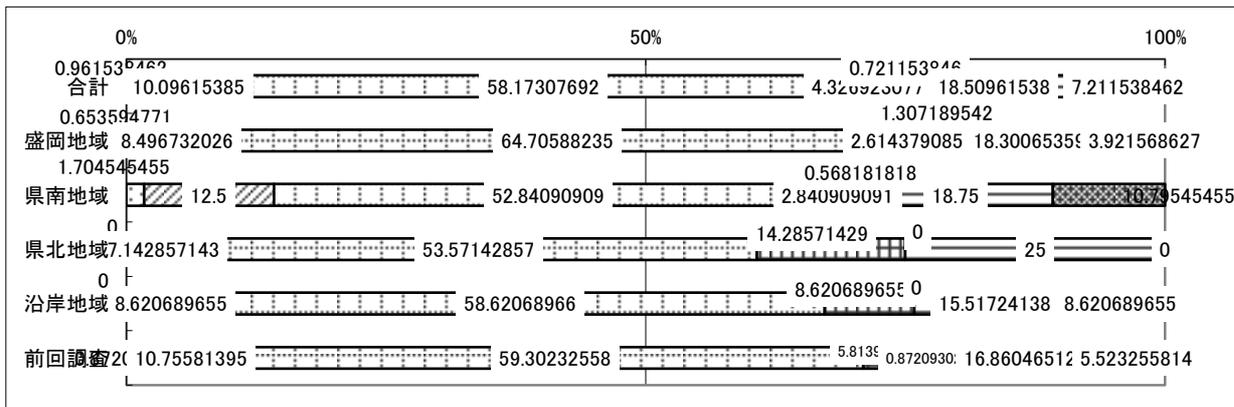
地域別にみると、『男性が優遇されている』と回答したものが最も多いのは「県南地域」(16.5%)であり、次いで「盛岡地域」(11.9%)、「県北地域」(11.6%)、「沿岸地域」(10.9%)である。
「平等」と回答したものは、すべての地域において5割を超えており、前回調査と比較してもすべての地域で増加している。

⑧今回調査 地域別による構成

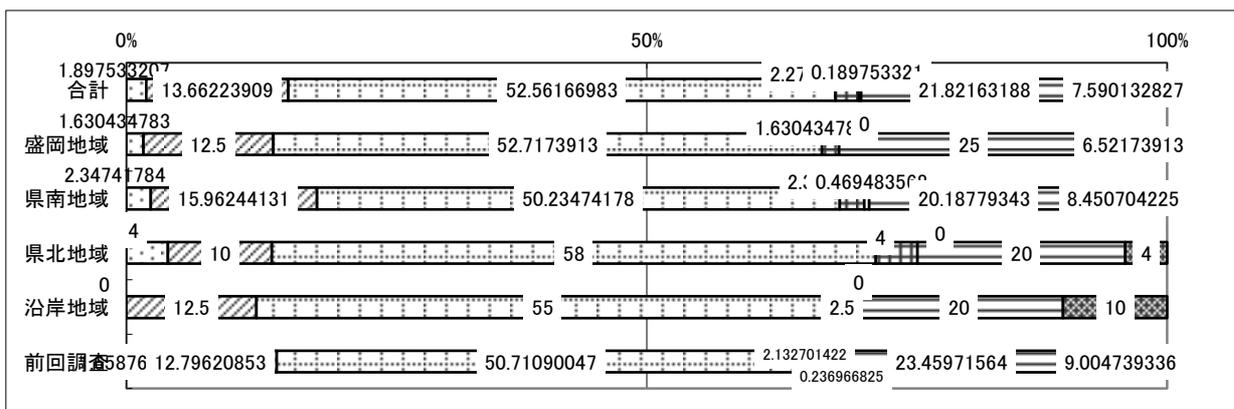


地域別・男女別にみると、『男性が優遇されている』と回答した男性で最も多いのは「県南地域」(14.2%)、女性で最も多いのは「県南地域」(18.3%)であり、男女共に「県南地域」が最も多かった。
前回調査と比較し、最も差があらわれたのは男性では「県北地域」(7.1%)であり、前回調査(11.8%)より4.7ポイント減少、女性では「沿岸地域」(12.5%)であり、前回調査(7.9%)より4.6ポイント増加している。
男女差が最も大きかったのは「県北地域」であり、男性(7.1%)と女性(14.0%)では、女性の方が6.9ポイント多かった。

⑨今回調査 男性の地域別構成



⑩今回調査 女性の地域別構成

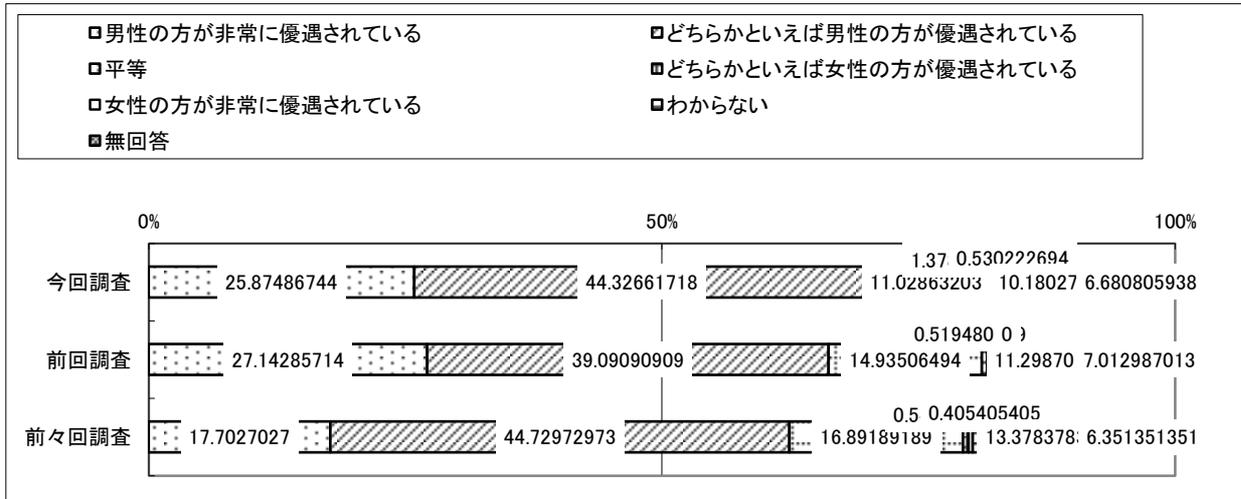


(4)政治の場で

政治の場で『男性が優遇されている』と回答したものは70.2%、『女性が優遇されている』と回答したものは1.9%である。

『男性が優遇されている』(70.2%)と回答したものは、前回調査(66.2%)より4ポイント増加している。「平等」と回答したものは11.0%であり、前回調査(14.9%)より3.9ポイント減少、前々回調査(16.9%)より5.9ポイント減少しており、政治の場においては、男女平等と回答するものは減少傾向にある。

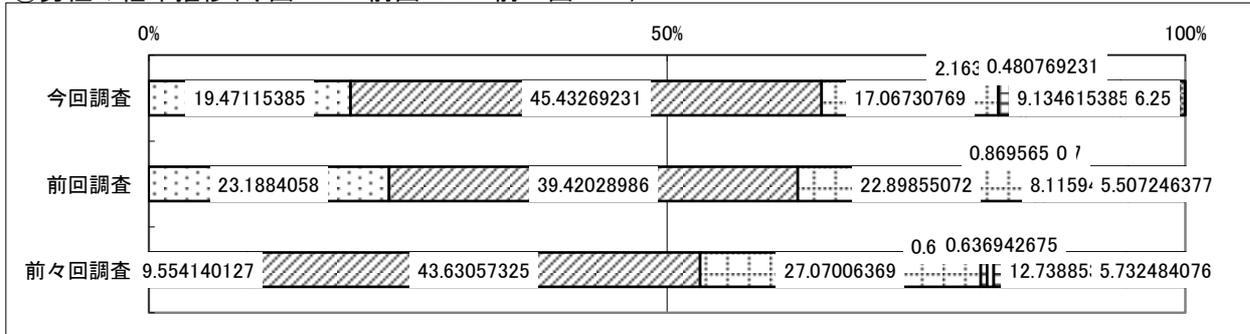
①合計(総数)の経年推移



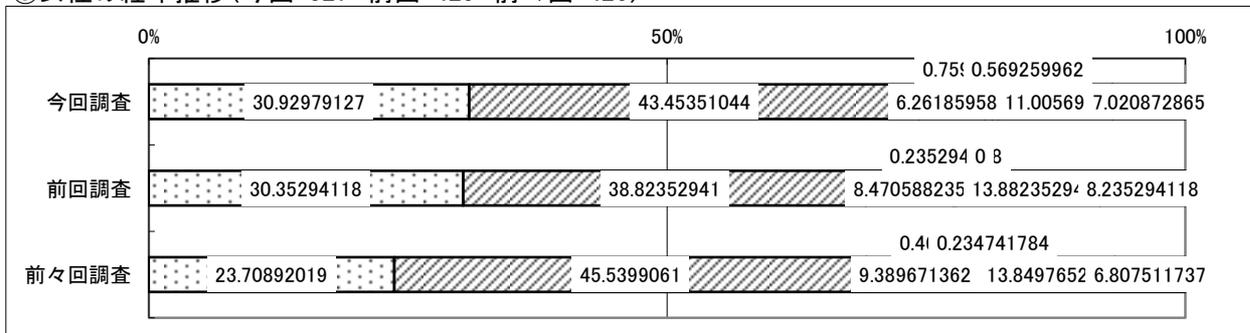
男女別にみると、『男性が優遇されている』と回答したものは、男性では64.9%、女性では74.4%であった。前回調査と比較すると、男女共に増加していることがわかるが、特に女性(74.4%)は前回調査より5.2ポイントと大きく増加した。

「平等」と回答したものは男性17.1%、女性6.3%であり、男女共に前回調査(男性22.9% 女性8.5%)および前々回調査(男性27.1% 女性9.4%)より減少している。

②男性の経年推移(今回=416 前回=345 前々回=314)

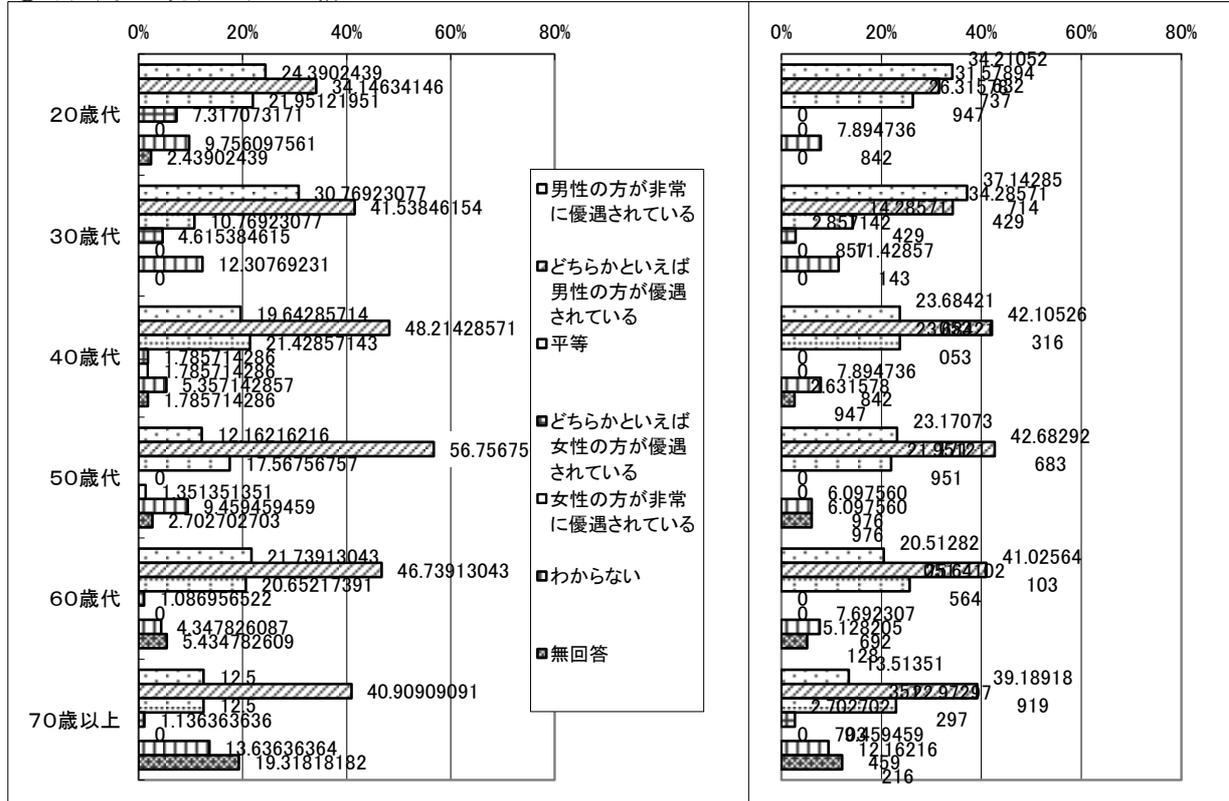


③女性の経年推移(今回=527 前回=425 前々回=426)

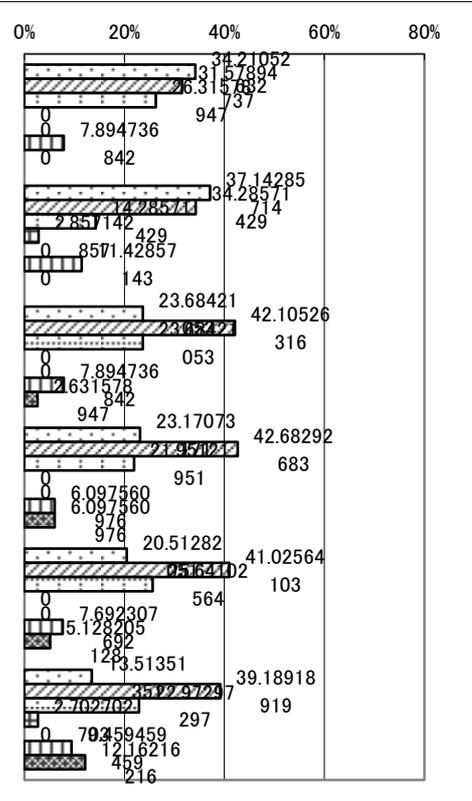


年代別・男女別にみると、『男性が優遇されている』と回答したものは、男性では「30歳代」(72.3%)が最も多く、次いで「50歳代」(69.0%)、「60歳代」(68.4%)と続く。女性では「30歳代」(91.1%)が最も多く、次いで「50歳代」(81.4%)、「20歳代」(80.9%)と続く。
女性においては、前回調査と同様の傾向であった。
男女差が最も多い年代は「20歳代」であり、男性(58.5%)と女性(80.9%)では、女性の方が22.4ポイント多い。

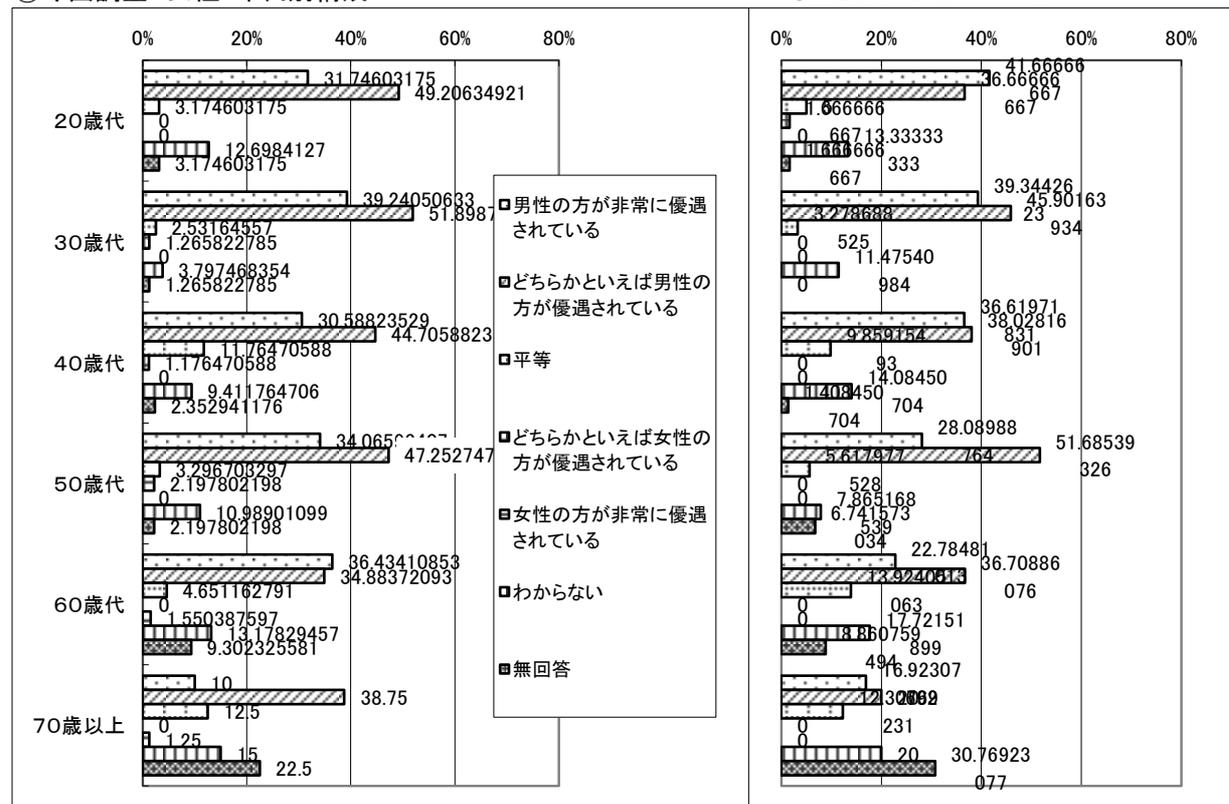
④今回調査 男性・年代別構成



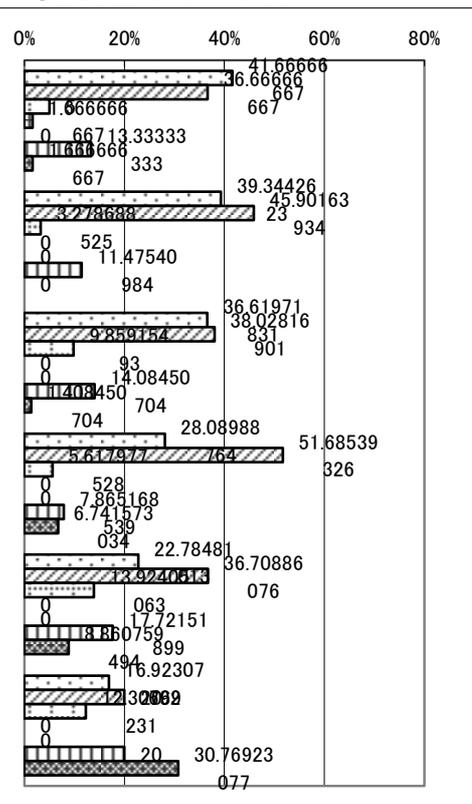
⑤前回調査 男性・年代別構成



⑥今回調査 女性・年代別構成

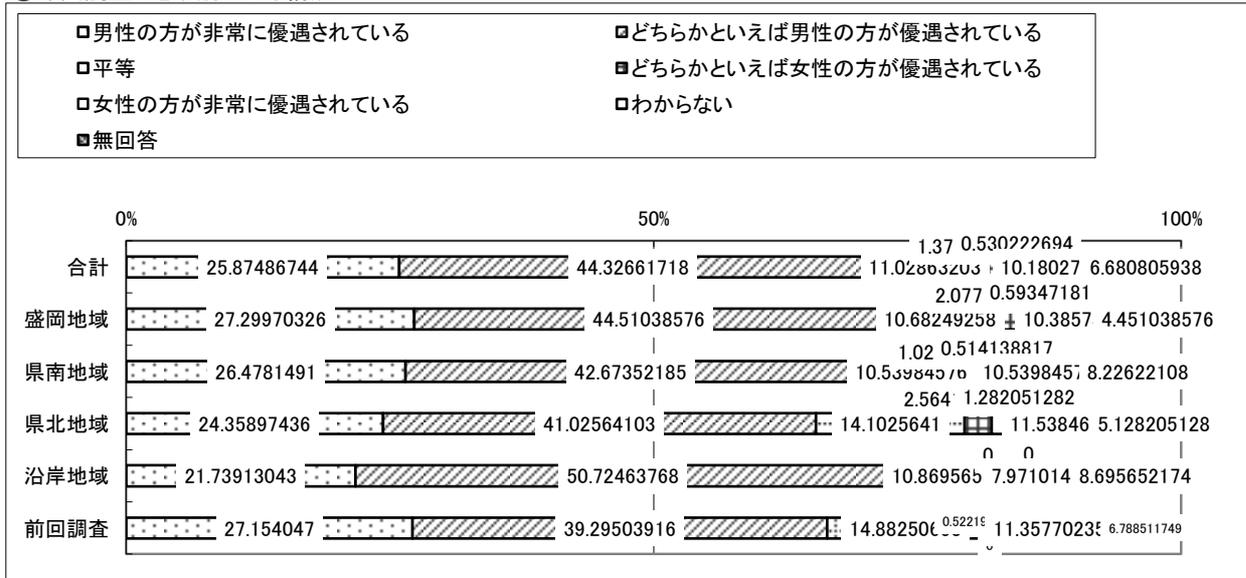


⑦前回調査 女性・年代別構成



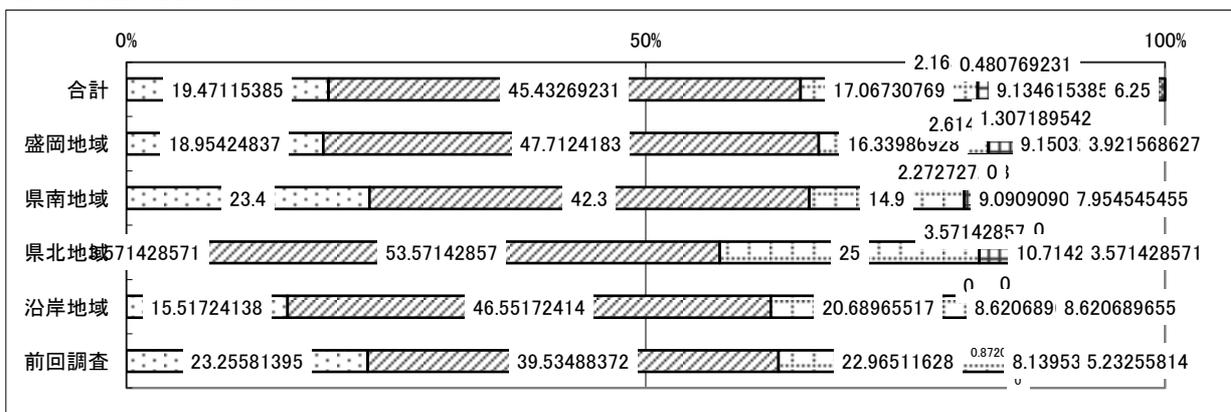
地域別にみると『男性が優遇されている』と回答したものは「沿岸地域」(72.4%)が最も多く、次いで「盛岡地域」(71.8%)、「県南地域」(69.2%)、「県北地域」(65.4%)である。
 「沿岸地域」(72.4%)は前回調査(51.2%)より21.2ポイントと大幅に増加しており、なかでも「どちらかといえば男性の方が優遇されている」(50.7%)が前回調査(31.9%)より18.8ポイントと大きく増加した。

⑧今回調査 地域別による構成

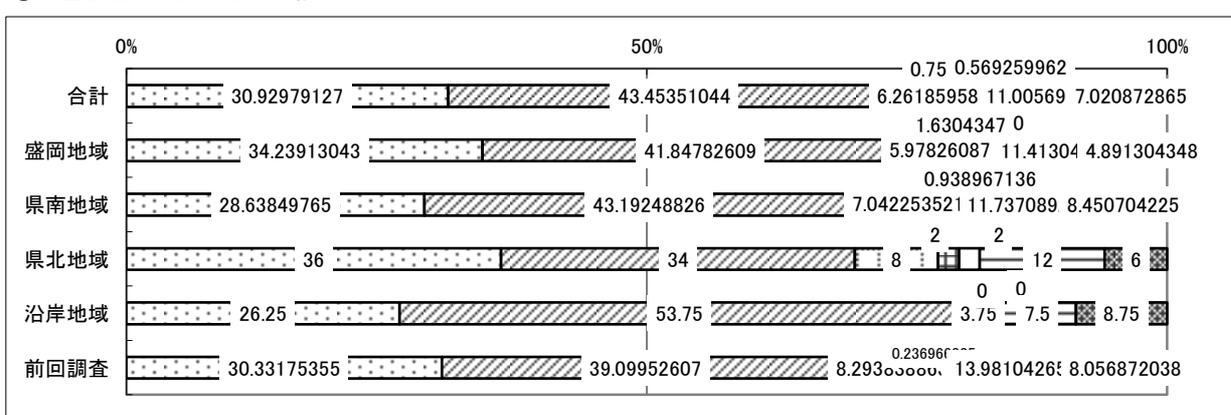


地域別・男女別にみると男性で『男性が優遇されている』と回答したものは「盛岡地域」(66.7%)が最も多く、女性で『男性が優遇されている』と回答したものは「沿岸地域」(80.1%)が最も多かった。
 「県北地域」で『男性の方が非常に優遇されている』と回答した男性は3.6%、女性は36.0%であり、10倍の差があった。

⑨今回調査 男性の地域別構成



⑩今回調査 女性の地域別構成

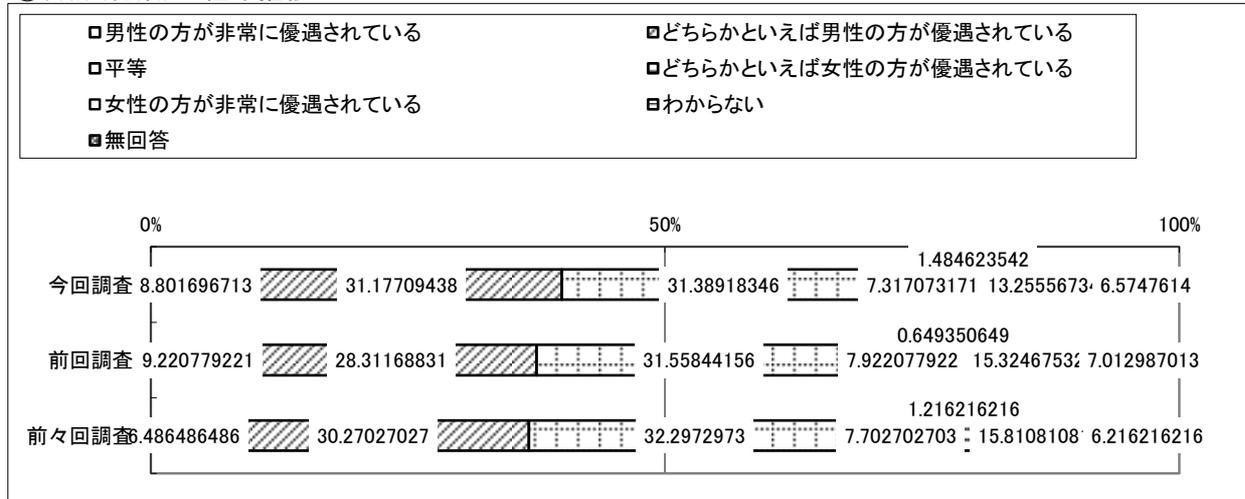


(5) 法律や制度の上で

法律や制度の上で『男性が優遇されている』と回答したものは40.0%、『女性が優遇されている』と回答したものは8.8%である。

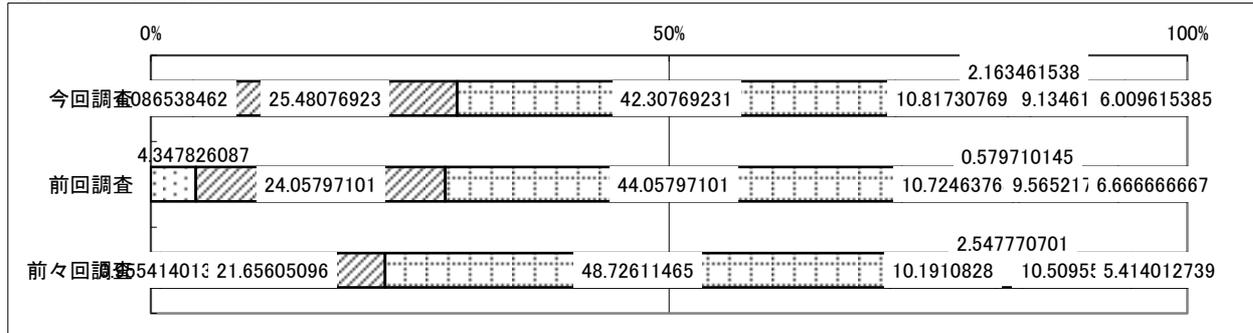
『男性が優遇されている』(40.0%)と回答したものは、前回調査(37.5%)より2.5ポイント増加、前々回調査(36.8%)より3.2ポイント増加しており、増加傾向で推移していると考えられる。

①合計(総数)の経年推移

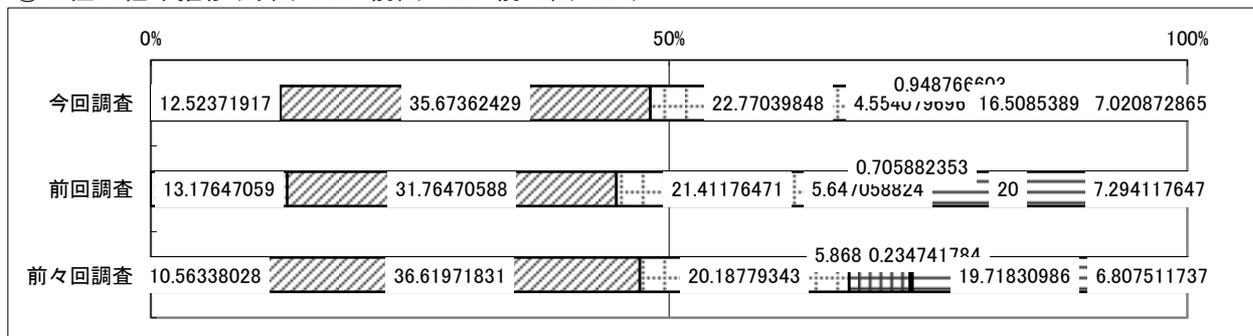


男女別にみると、『男性が優遇されている』と回答した男性は29.6%、女性は48.2%である。男性(29.6%)は前回調査(28.4%)より1.2ポイント増加し、女性(48.2%)は前回調査(45.0%)より3.2ポイント増加している。平等」と回答した男性(42.3%)は女性(22.8%)の約2倍であり、これは前回調査(男性44.1% 女性21.4%)、前々回調査(男性48.7% 女性20.2%)と同様の傾向である。

②男性の経年推移(今回=416 前回=345 前々回=314)

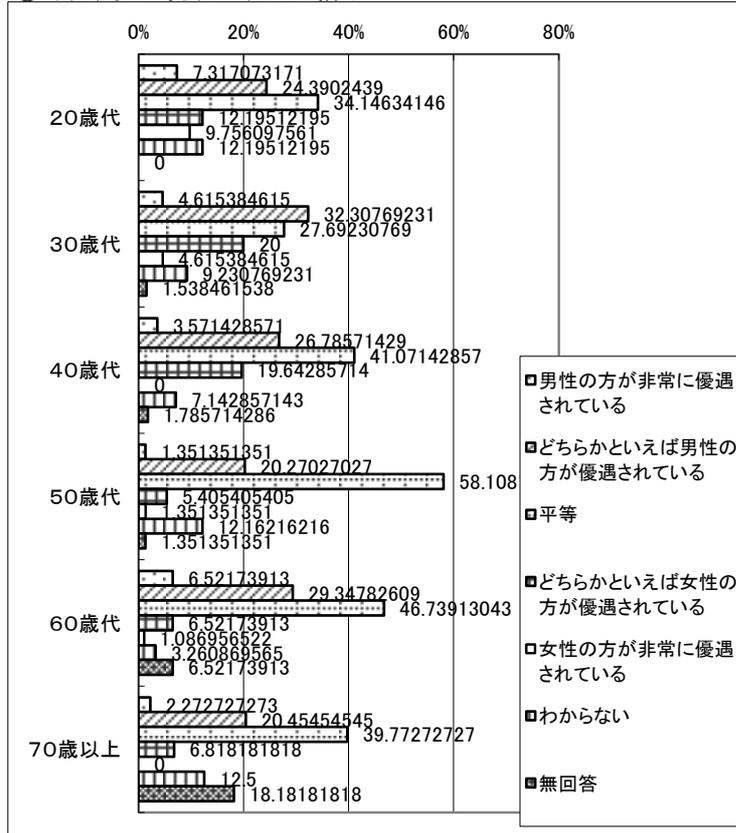


③女性の経年推移(今回=527 前回=425 前々回=426)

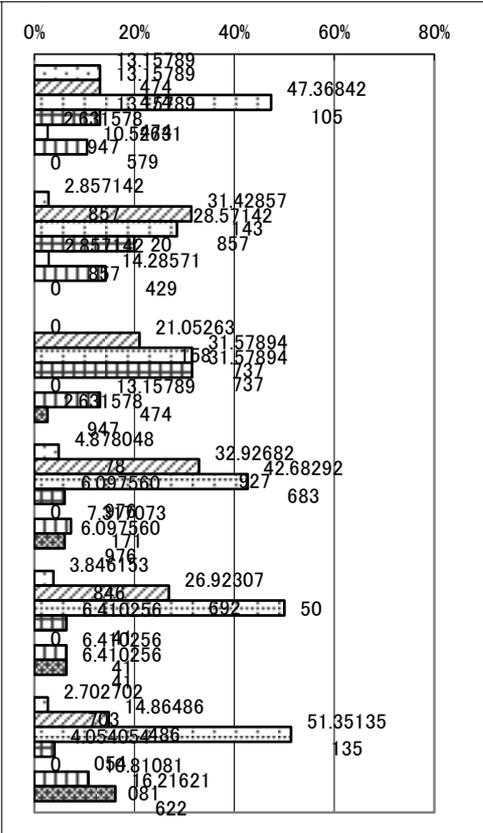


年代別・男女別にみると、男性で『男性が優遇されている』と回答したものが最も多いのは「30歳代」(36.9%)であり、次いで「60歳代」(35.8%)、「20歳代」(31.7%)と続く。
 女性で、『男性が優遇されている』と回答したものが最も多いのは「30歳代」(59.5%)であり、次いで「40歳代」(55.3%)、「50歳代」(48.4%)と続く。
 男女共に『男性が優遇されている』と回答したものは「30歳代」が1番であるが、男性(36.9%)と女性(59.5%)では女性の方が22.6ポイント多い。

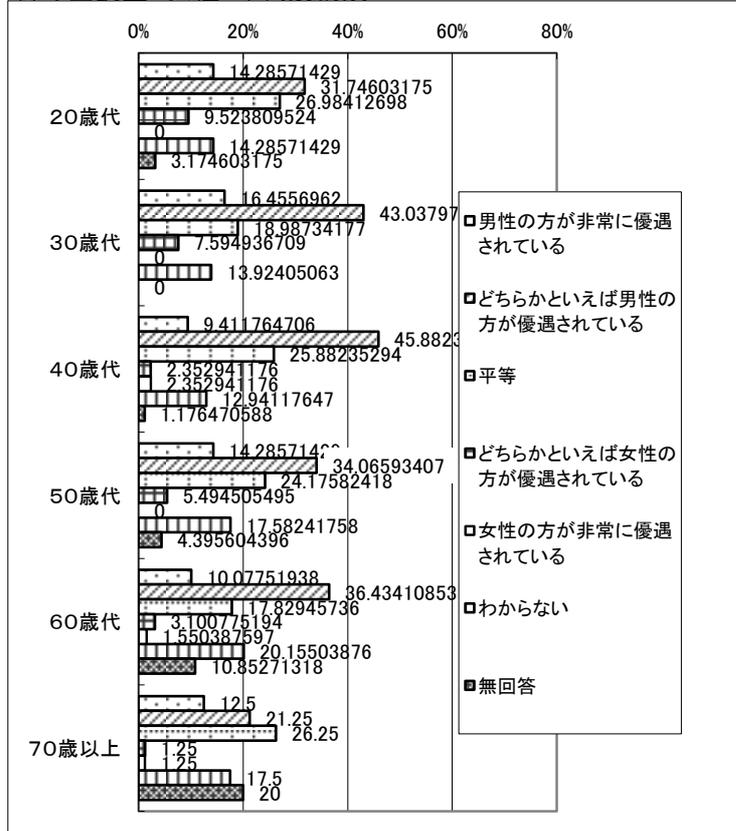
④今回調査 男性・年代別構成



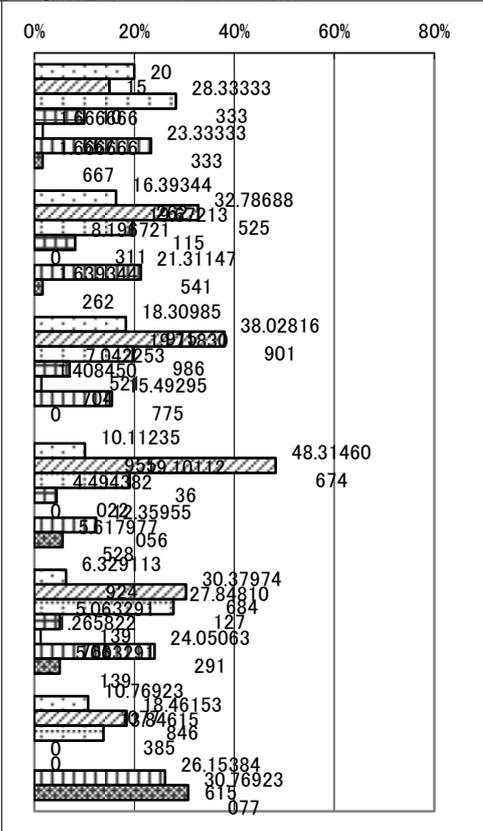
⑤前回調査 男性・年代別構成



⑥今回調査 女性・年代別構成

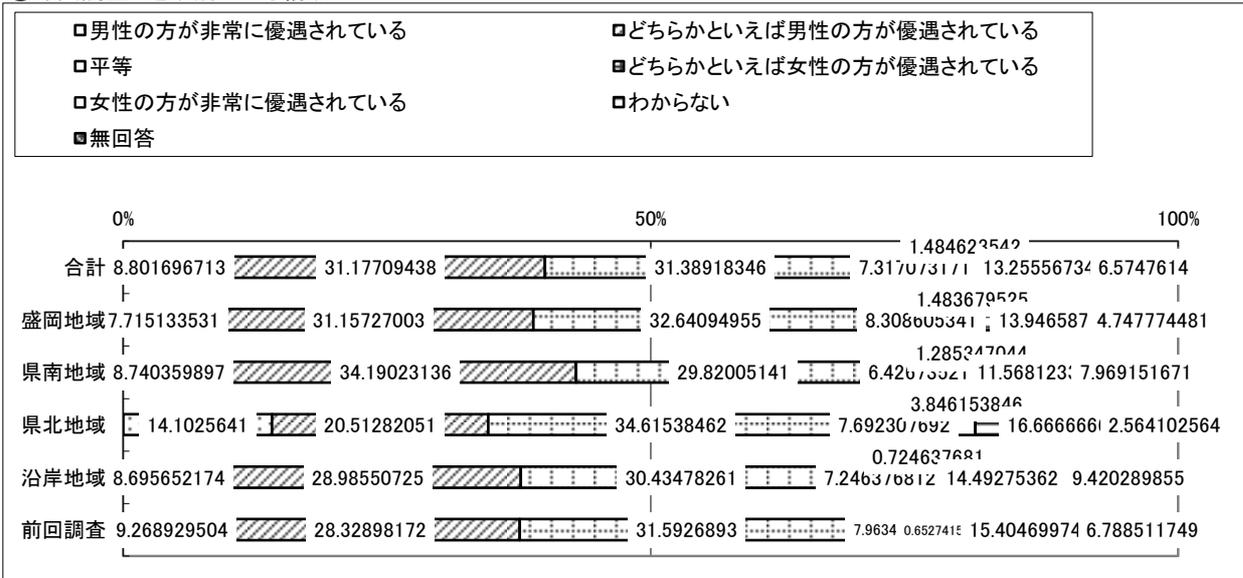


⑦前回調査 女性・年代別構成



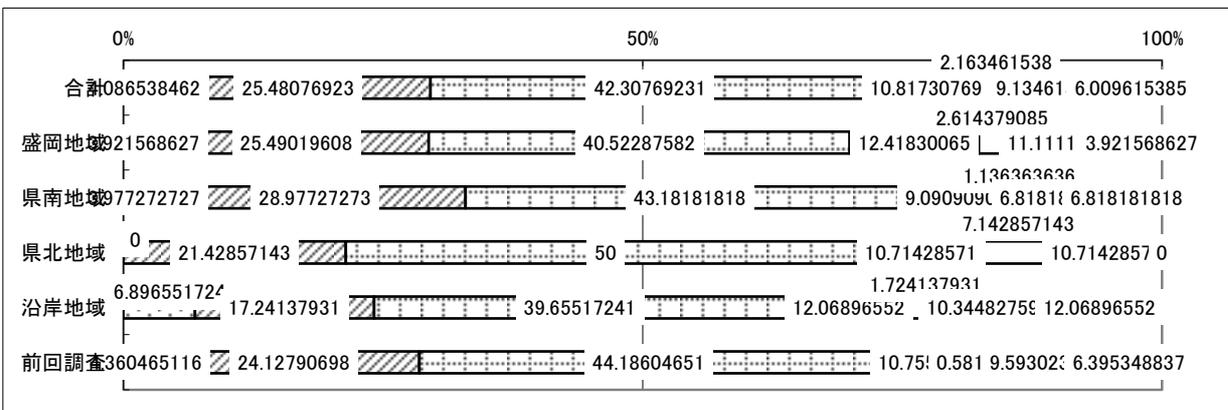
地域別にみると、『男性が優遇されている』と回答したものが最も多いのは「県南地域」(42.9%)であり、次いで「盛岡地域」(38.9%)、「沿岸地域」(37.7%)、「県北地域」(34.6%)である。
この傾向は、前回調査同様である。
「平等」と回答したものが最も多いのは「県北地域」(34.6%)であり、最も少ないのは「県南地域」(29.8%)である。その差は4.8ポイントである。

⑧今回調査 地域別による構成

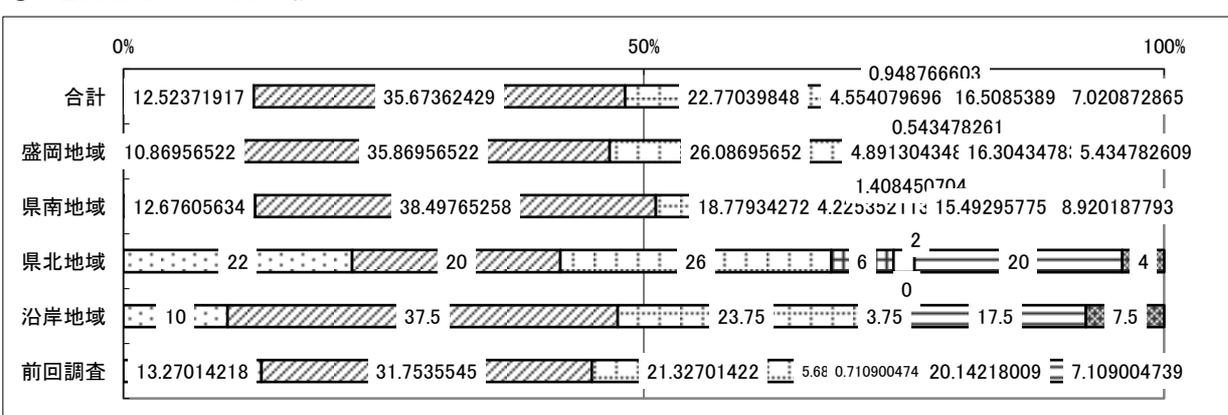


地域別・男女別にみると、男性で『男性が優遇されている』と回答したものが最も多い地域は「県南地域」(33.0%)であり、女性で『男性が優遇されている』と回答したものが最も多い地域は「県南地域」(51.2%)であった。
男女差が最も大きかったのは「沿岸地域」であり、男性(24.1%)と女性(47.5%)では、女性の方が23.4ポイント多い。

⑨今回調査 男性の地域別構成



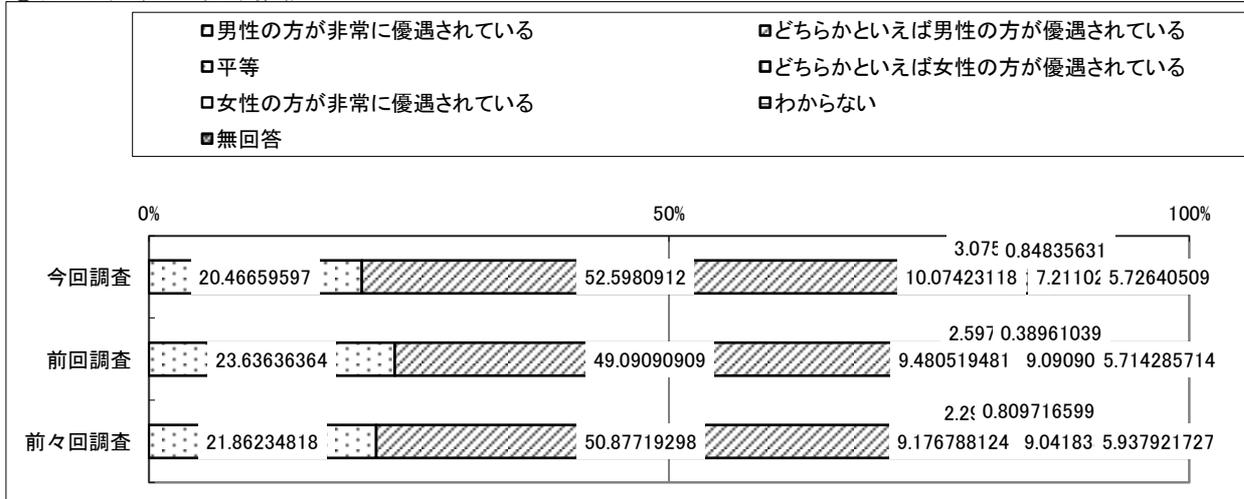
⑩今回調査 女性の地域別構成



(6) 社会通念・慣習・しきたりなどで

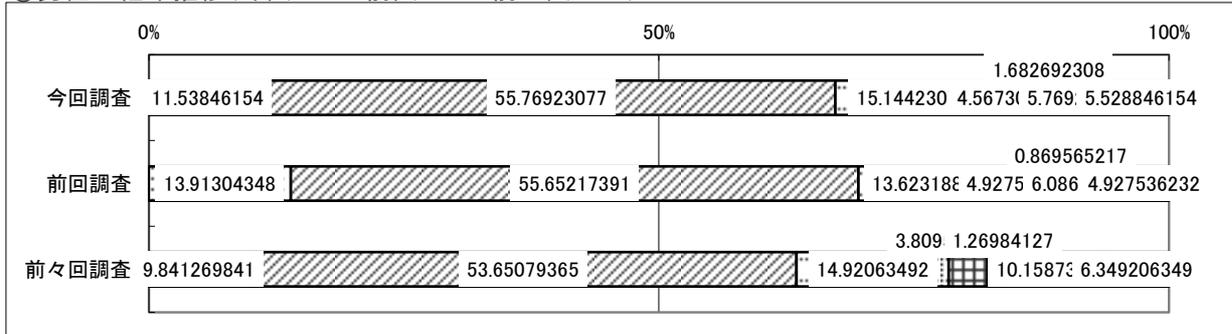
社会通念・慣習・しきたりなどで『男性が優遇されている』と回答したものは73.1%であり、『女性が優遇されている』と回答したものは3.9%である。
『男性が優遇されている』と回答したものは前回調査(72.7%)より0.4ポイントとわずかに増加している。

① 合計(総数)の経年推移

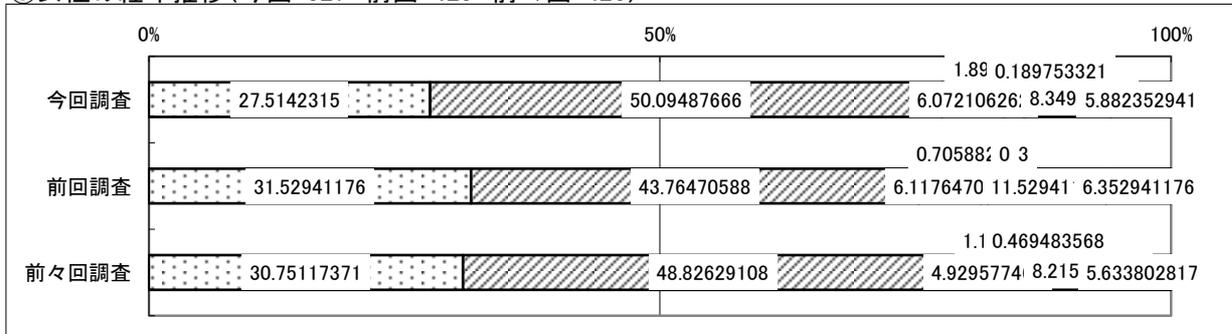


男女別にみると、男性で『男性が優遇されている』と回答したものは67.3%であり、前回調査(69.6%)より2.3ポイント減少しているが、内訳をみると「どちらかといえば男性の方が優遇されている」(55.8%)はほぼ変化は無いが、「男性の方が非常に優遇されている」(11.5%)は前回調査(13.9%)より2.4ポイント減少した。女性で『男性が優遇されている』と回答したものは77.6%であり、前回調査(75.3%)より2.3ポイント増加している。

② 男性の経年推移(今回=416 前回=345 前々回=314)

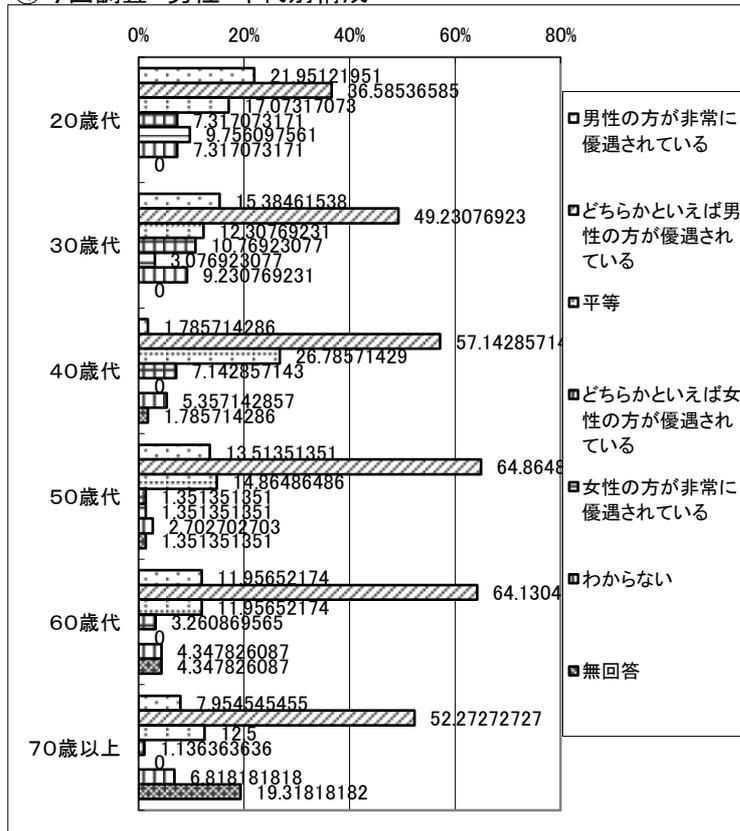


③ 女性の経年推移(今回=527 前回=425 前々回=426)

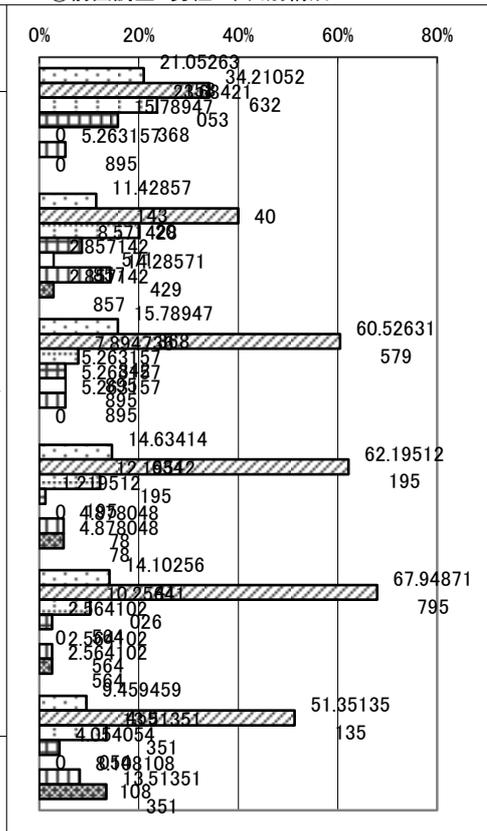


年代別・男女別にみると、男性で『男性が優遇されている』と回答したものが最も多い年代は「50歳代」(78.4%)であり、次いで「60歳代」(76.1%)、「30歳代」(64.6%)である。
 女性で『男性が優遇されている』と回答したものが最も多い年代は「30歳代」(89.9%)であり、次いで「40歳代」(83.6%)、「50歳代」(81.3%)と続く。女性の傾向は前回調査と同様である。
 男女による差が大きかった年代は「30歳代」であり、男性(64.6%)と女性(89.9%)では、女性の方が25.3ポイント多かった。

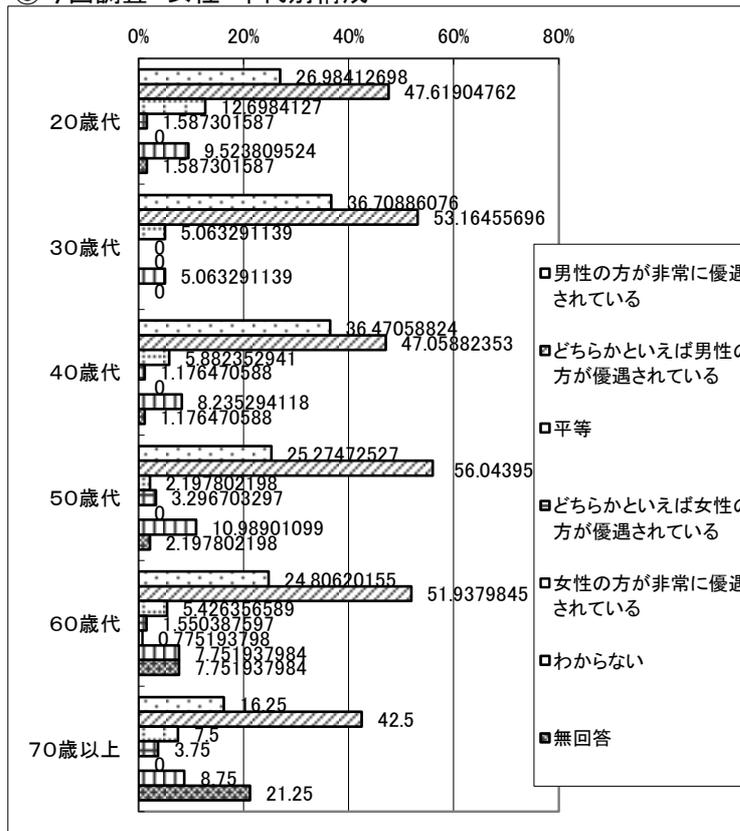
④今回調査 男性・年代別構成



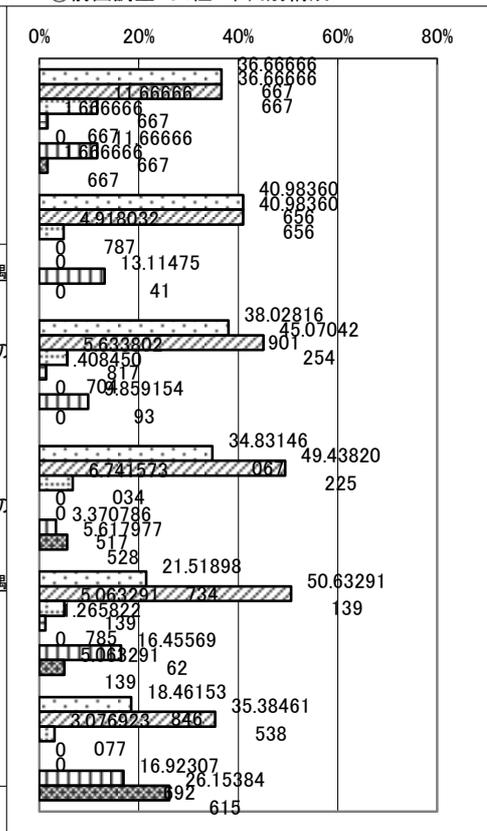
⑤前回調査 男性・年代別構成



⑥今回調査 女性・年代別構成

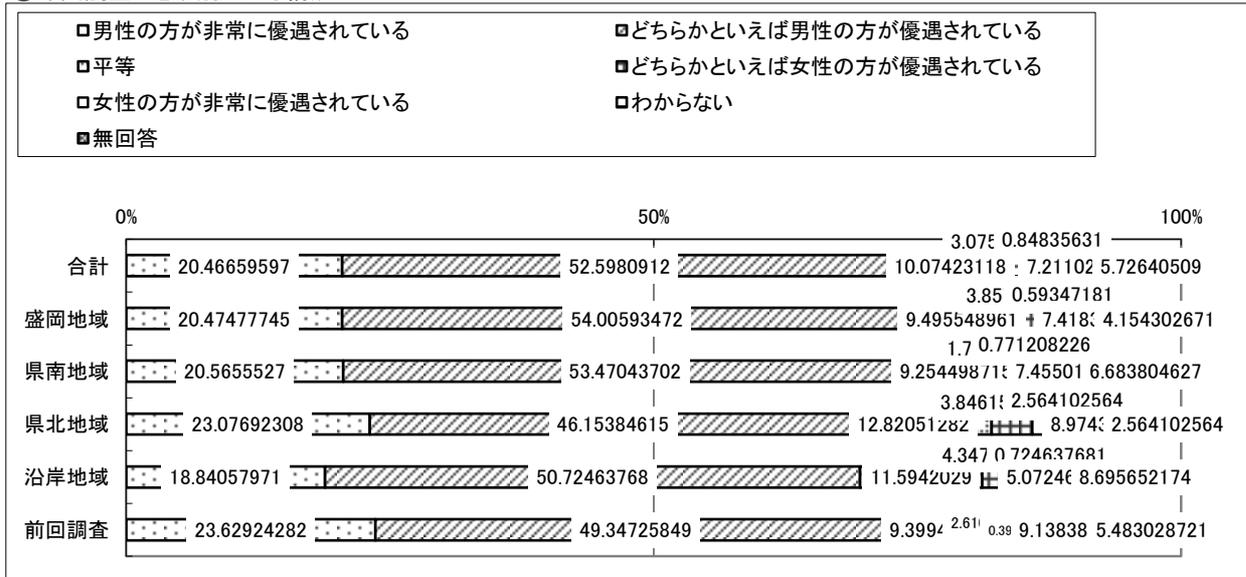


⑦前回調査 女性・年代別構成



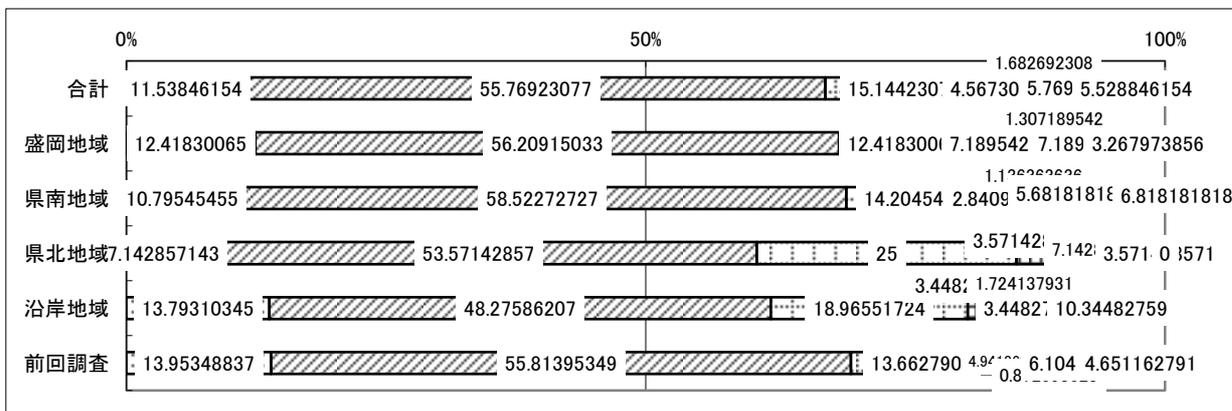
地域別にみると、『男性が優遇されている』と回答したものが最も多い地域は「盛岡地域」(74.5%)であり、次いで「県南地域」(74.1%)、「沿岸地域」(69.5%)、「県北地域」(69.3%)と続く。
前回調査と比較すると、3番目と4番目が逆転している。

⑧今回調査 地域別による構成

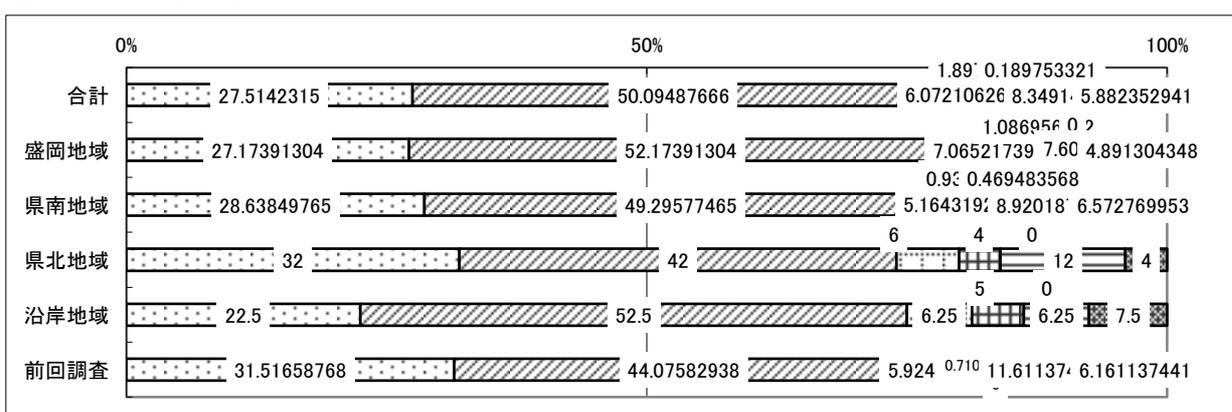


地域別・男女別にみると、男性で『男性が優遇されている』と回答したものが最も多い地域は「県南地域」(69.3%)であり、次いで「盛岡地域」(68.6%)、「沿岸地域」(62.1%)、「県北地域」(60.7%)である。
女性で『男性が優遇されている』と回答したものが最も多い地域は「盛岡地域」(79.4%)であり、次いで「県南地域」(77.9%)、「沿岸地域」(75.0%)、「県北地域」(74.0%)である。
男性ではすべての地域において『男性が優遇されている』と回答したものは7割を下回ったが、女性ではすべての地域において7割を上回った。

⑨今回調査 男性の地域別構成



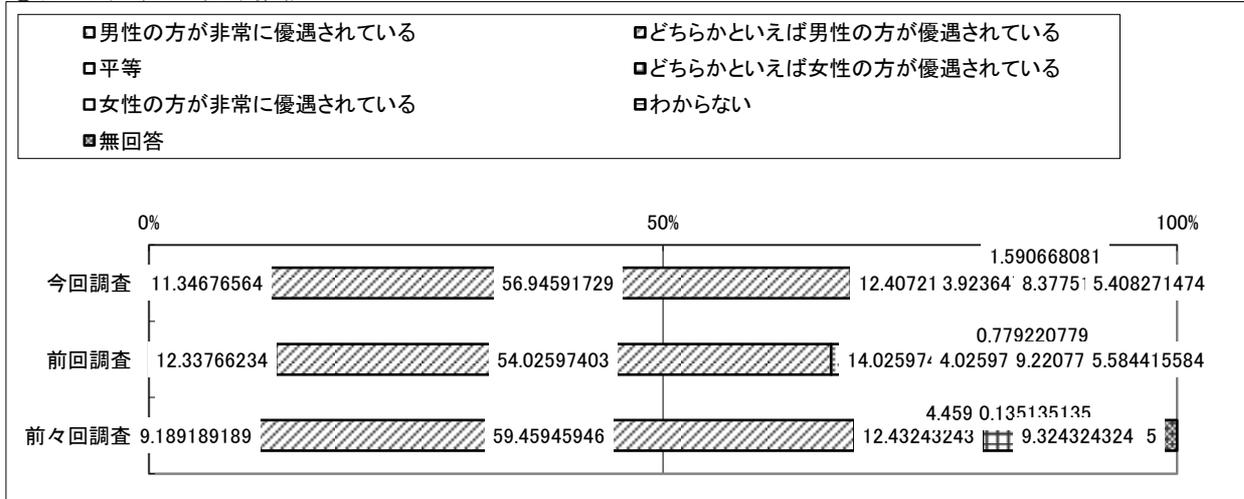
⑩今回調査 女性の地域別構成



(7)社会全体として

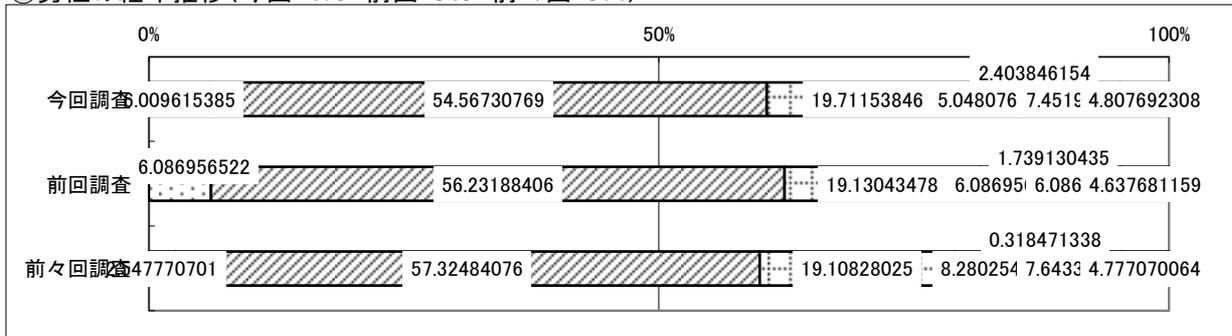
社会全体として『男性が優遇されている』と回答したものは68.2%であり、前回調査より1.9ポイント増加している。
 『女性が優遇されている』と回答したものは5.5%であり、前回調査より0.7ポイント減少している。
 「平等」と回答したものは12.4%であり、前回調査より1.6ポイント減少している。

①合計(総数)の経年推移

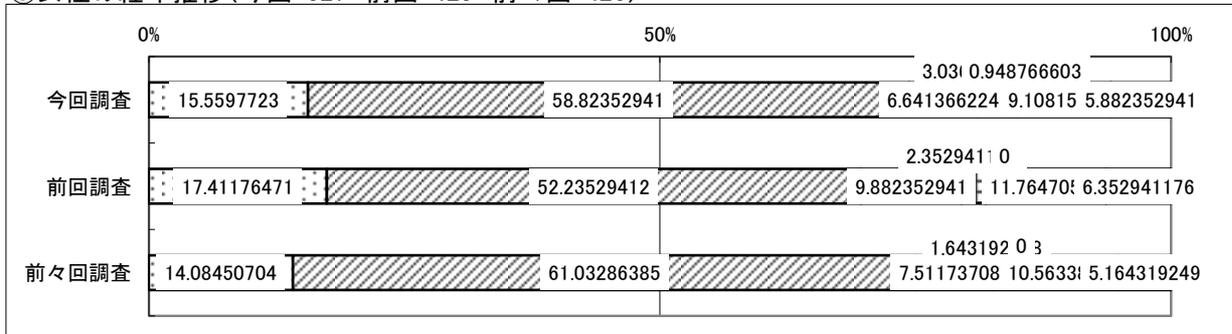


男女別にみると、男性で『男性が優遇されている』と回答したものは60.6%であり、前回調査より1.7ポイント減少している。
 女性で『男性が優遇されている』と回答したものは74.4%であり、前回調査より4.8ポイント増加している。
 「平等」と回答した男性(19.7%)は、前回調査と比較して大きな差はないが、女性(6.6%)は前回調査より3.3ポイント増加している。

②男性の経年推移(今回=416 前回=345 前々回=314)

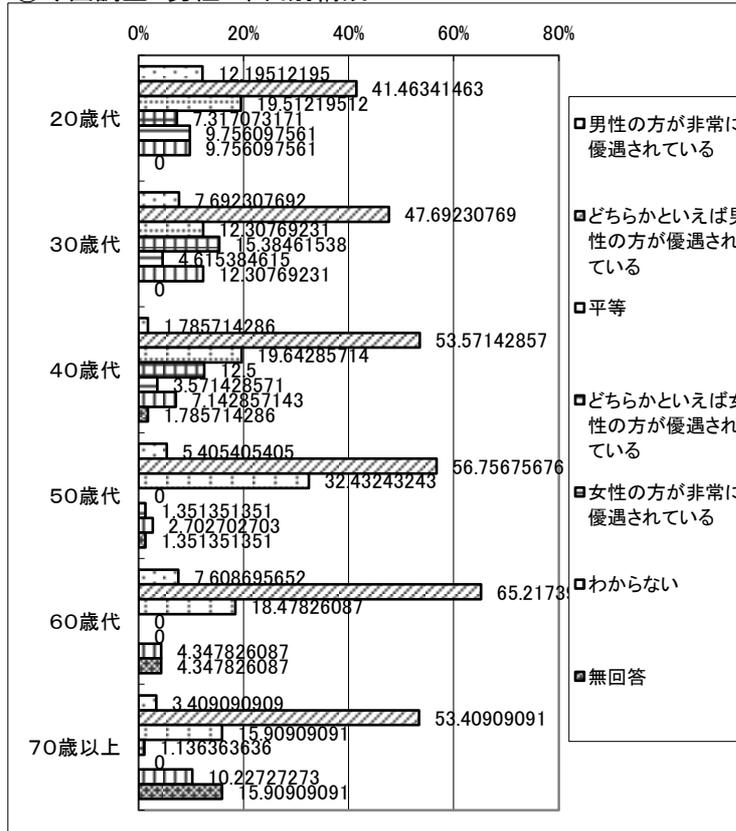


③女性の経年推移(今回=527 前回=425 前々回=426)

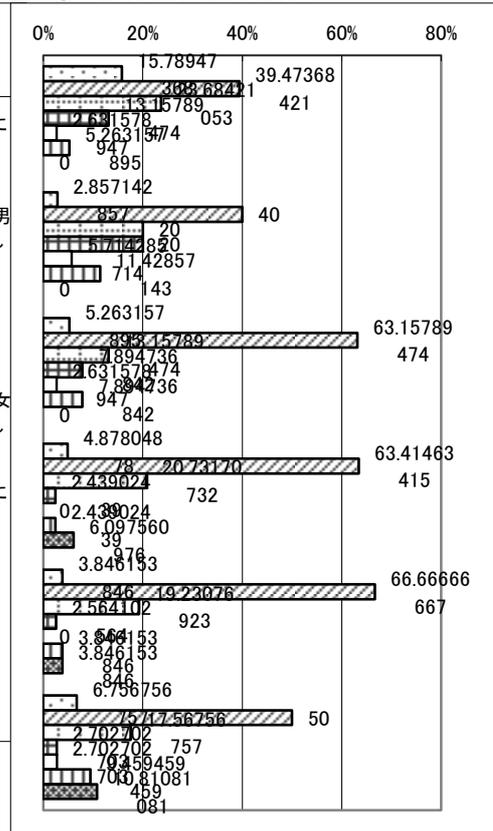


年代別・男女別にみると、男性で『男性が優遇されている』と回答したものが最も多い年代は「60歳代」(72.8%)であり、女性で『男性が優遇されている』と回答したものが最も多い年代は「30歳代」(86.1%)である。
男女差が最もあった年代は「30歳代」であり、男性(55.4%)と女性(86.1%)では、女性の方が30.7ポイント多い。

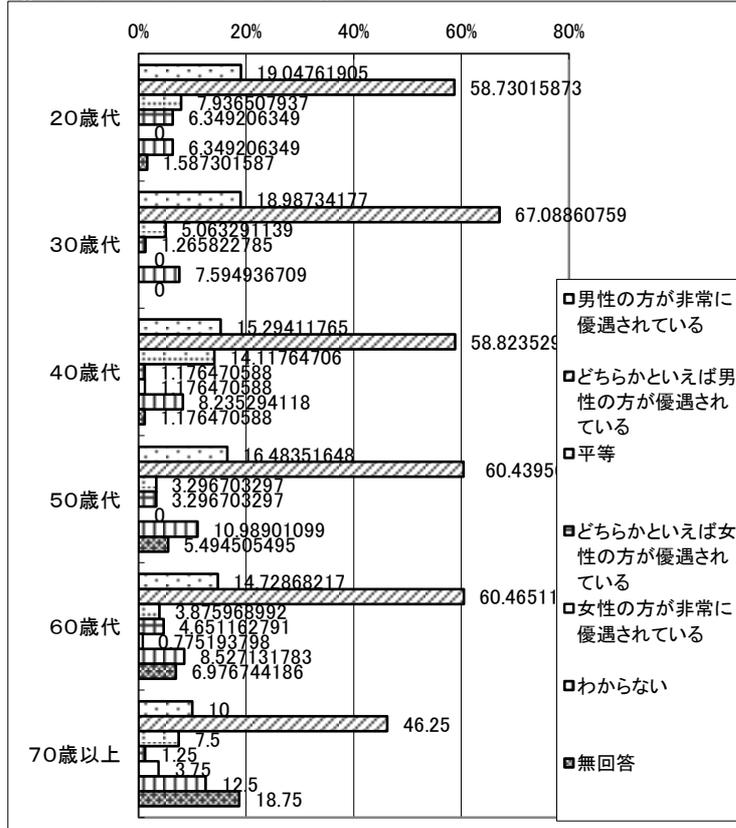
④今回調査 男性・年代別構成



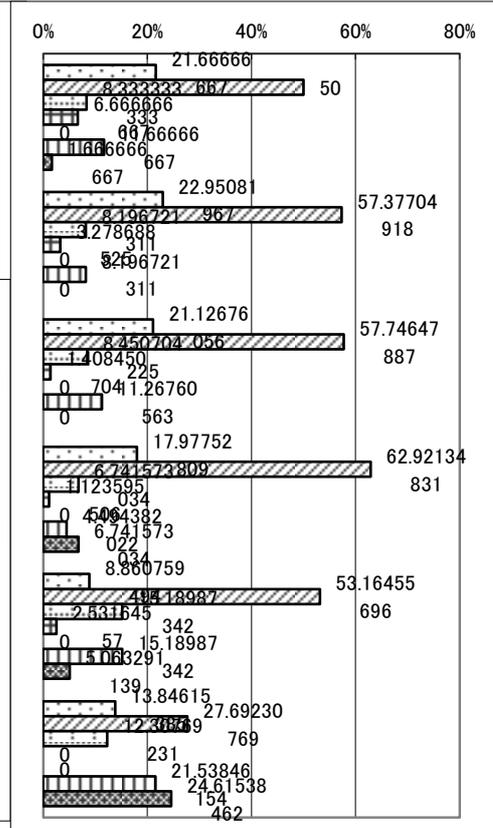
⑤前回調査 男性・年代別構成



⑥今回調査 女性・年代別構成

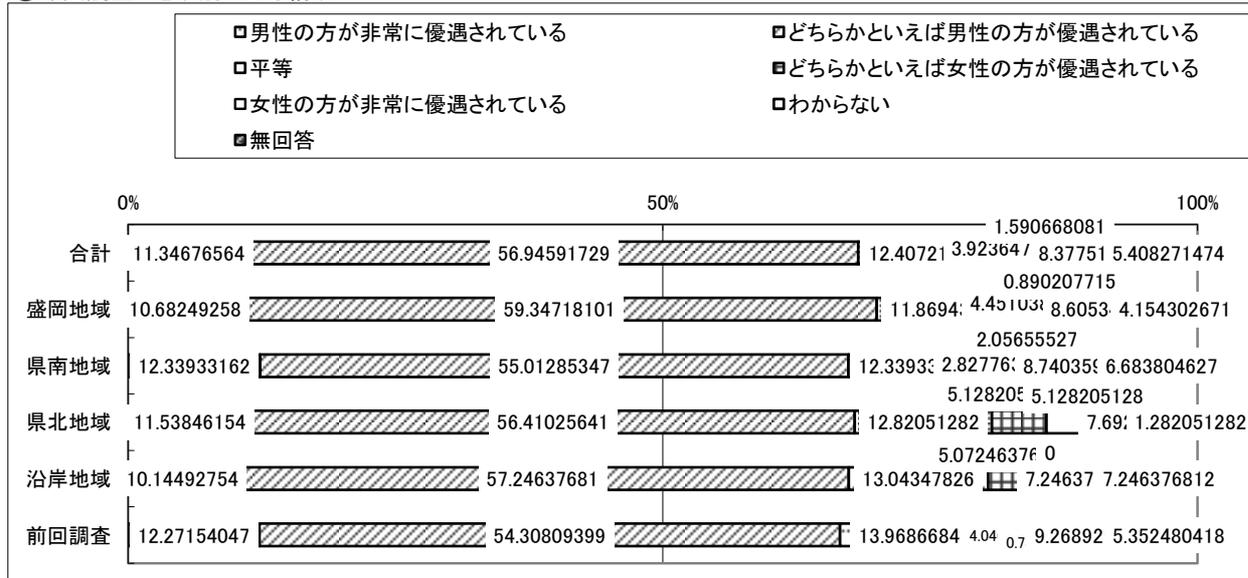


⑦前回調査 女性・年代別構成



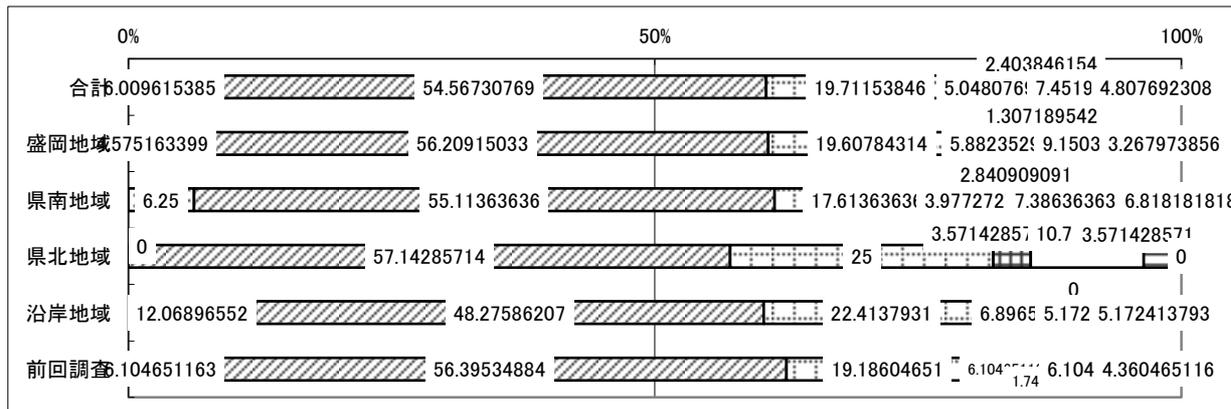
地域別にみると『男性が優遇されている』と回答したものが最も多い地域は「盛岡地域」(70.0%)であり、次いで「県北地域」(67.9%)、「県南地域」(67.3%)、「沿岸地域」(67.3%)と続く。
 前回調査と比較すると、「沿岸地域」(67.3%)は前回調査(55.4%)より11.9ポイントと大幅に増加している。

⑧今回調査 地域別による構成

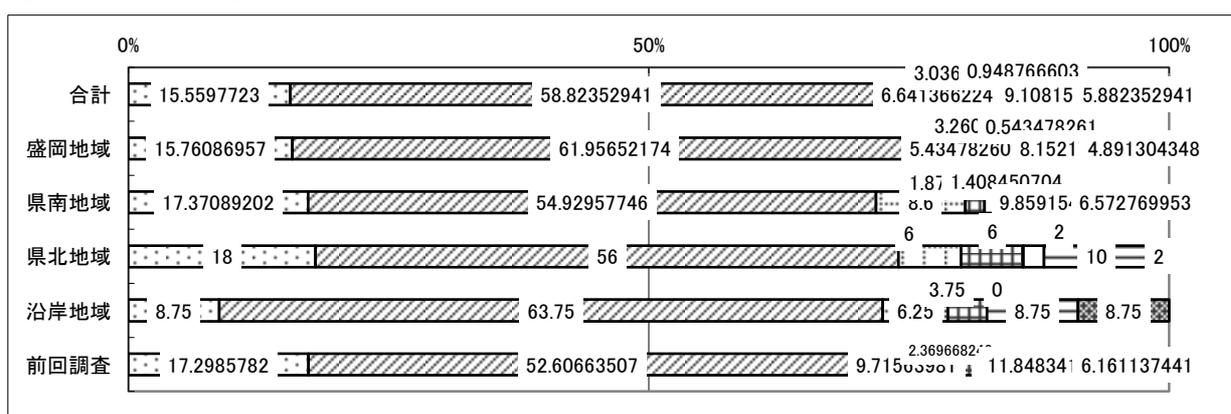


地域別・男女別にみると男性で『男性が優遇されている』と回答したものが最も多い地域は「県南地域」(61.4%)であり、次いで、「盛岡地域」(60.8%)、「沿岸地域」(60.4%)、「県北地域」(57.1%)と続く。
 前回調査と比較すると、3番めと4番目が逆転している。
 女性で『男性が優遇されている』と回答したものが最も多い地域は「盛岡地域」(77.8%)であり、次いで「県北地域」(74.0%)、「沿岸地域」(72.6%)、「県南地域」(72.3%)と続く。
 女性はすべての地域において『男性が優遇されている』と回答したものが7割を超えている。
 男女差が最も大きかった地域は「盛岡地域」であり、男性(60.8%)と女性(77.8%)では、女性の方が17ポイント多い。

⑨今回調査 男性の地域別構成



⑩今回調査 女性の地域別構成



問2 今後、男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために、重要と思われるものは何ですか。
次の中から2つ選んで○をつけてください。
(N=943 男性=416 女性=527)

男女平等のために重要なものとして重要と思われるものは「偏見、社会通念、慣習、しきたりを改める」(46.2%)が最も多く、次いで「男性の家事・育児・介護・地域活動への参加」(33.4%)、「女性の就業、社会参加支援の施設、サービス充実」(22.1%)と続く。

これは前回調査同様の傾向である。

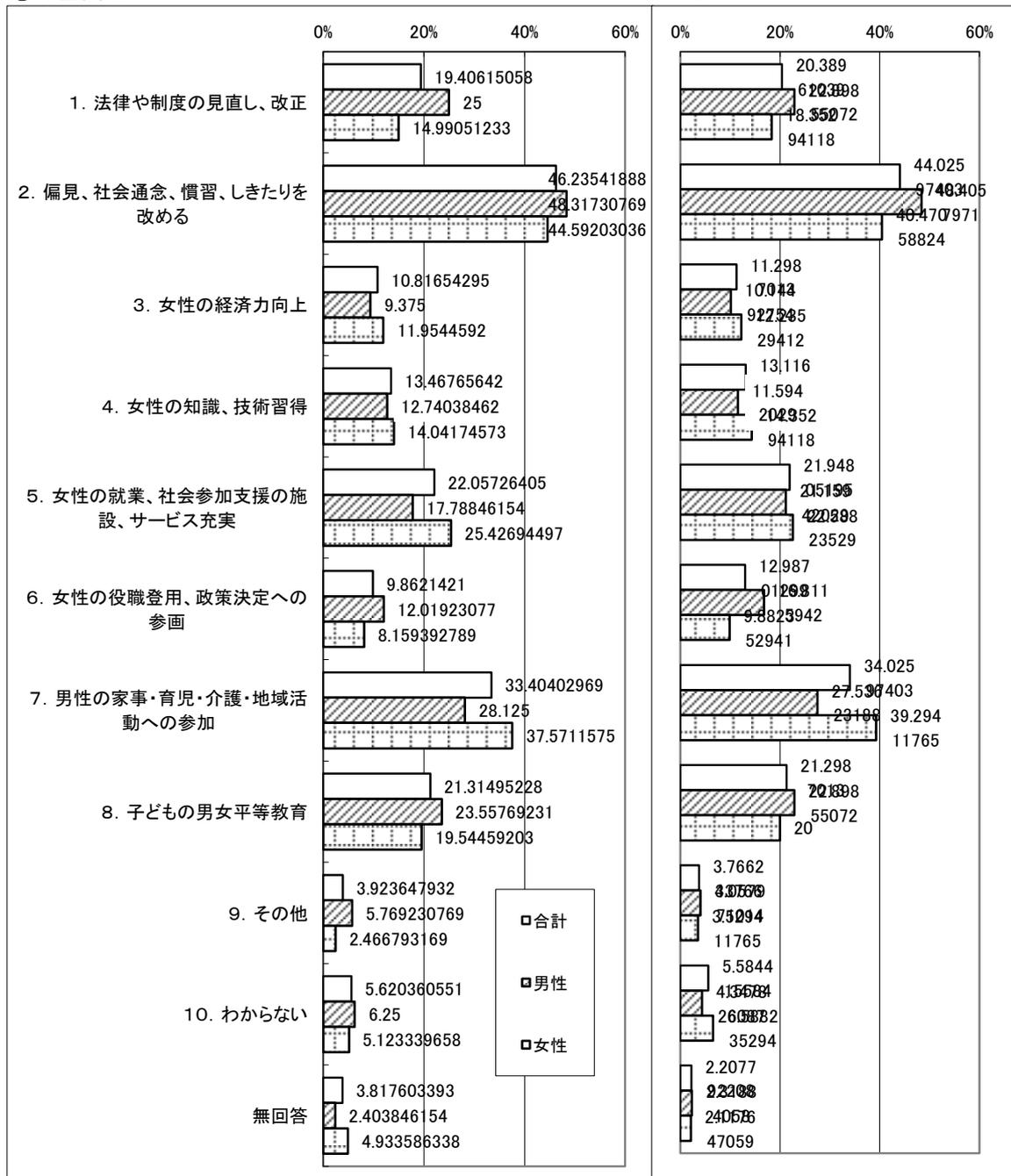
前回調査と比較すると「偏見、社会通念、慣習、しきたりを改める」(46.2%)は2.2ポイント増加している。

男女別にみると、男女共に「偏見、社会通念、慣習、しきたりを改める」(男性48.3% 女性44.6%)が最も多く、次いで「男性の家事・育児・介護・地域活動への参加」(男性28.1% 女性37.6%)と続くが、3番目は、男性では「法律や制度の見直し、改正」(25.0%)であり、女性では「女性の就業、社会参加支援の施設、サービス充実」(25.4%)であった。

男女の差が最も大きかったものは「法律や制度の見直し、改正」であり、男性(25.0%)と女性(15.0%)では男性の方が10ポイント多い。

①今回調査

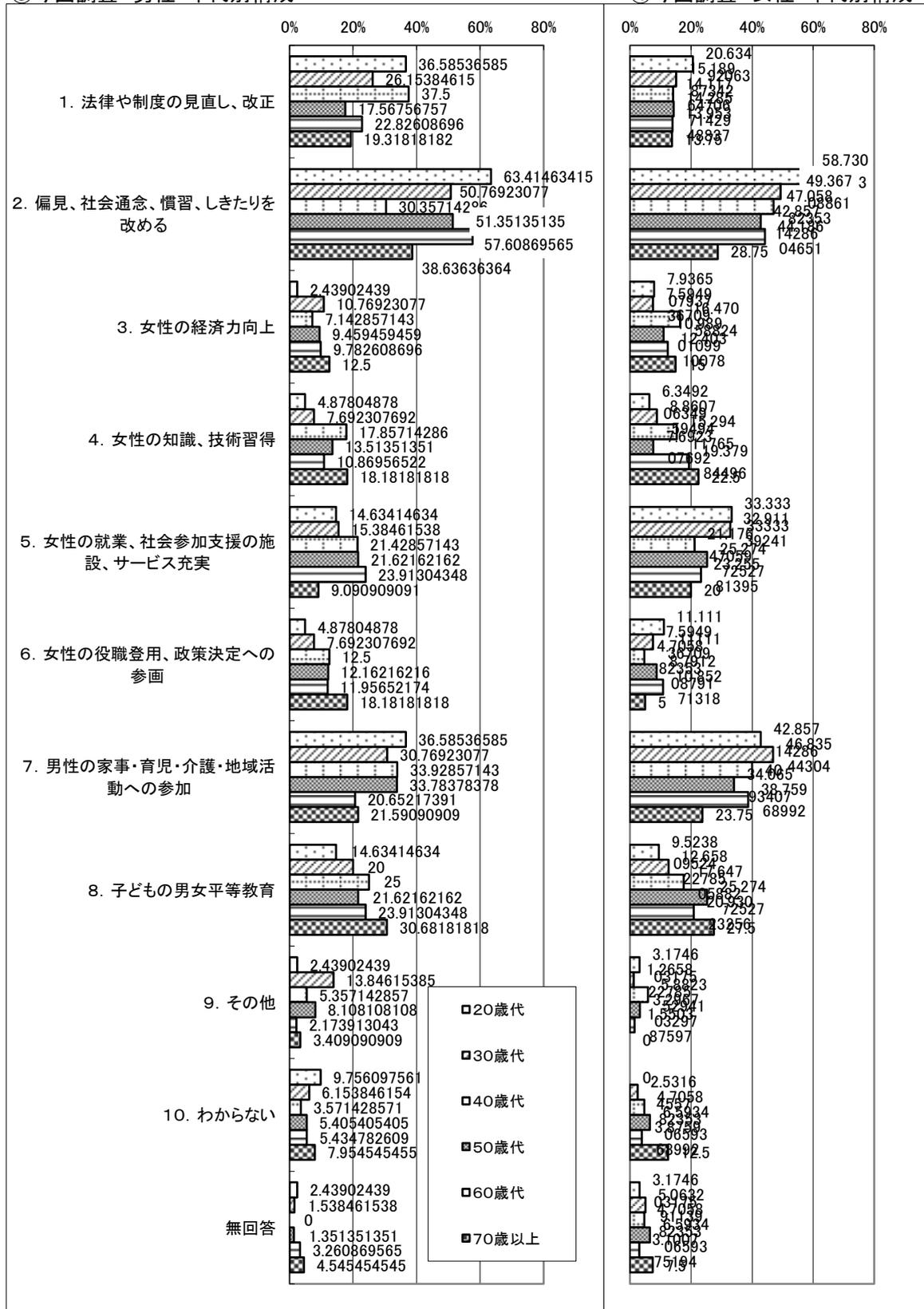
②前回調査 性別構成



年代別・男女別にみると、「男性40歳代」以外全ての年代・性別において「偏見、社会通念、慣習、しきたりを改める」と回答したものが最も多い。
 「男性40歳代」は「男性の家事・育児・介護・地域活動への参加」と回答したものが最も多かった。

③今回調査 男性・年代別構成

④今回調査 女性・年代別構成



「その他」の記述

女性の被差別意識を改めること

必要ない

男性、女性では条件が違う 相互の理解と平等への認識が国民全体が必要だと思う

あべ政権にむじゅんがあり、いい訳にしか思えず、本当に今何が必要なのかただ自分の事しか考えてない様に思う。

男女平等など無意味だということを知ること

男性が家事や育児介護地域活動に参加できる制度やサービスの充実

平等じゃないと意識しないこと

気持ちの中では、どちらでもいいのでは。社会的なところで、チャンスは平等であればいいのではと考える。

平等になれると思わない。

育児休業あけの職場環境

男女協働であり女性のためのものではないのではないのでしょうか。社会全体として男性の就業に関する取組みも必要。そのうえでの性差を考えるべき。

能力を実践すること

出産、子育てを仕事にし国が給料を払う

均等に見合った責任意識を高めること

女性が技術等が高過ぎると結婚しない例が多い。

○男、女それぞれに、役割があるはず、女性の男性化は間違いです。○男女平等な為、結婚しにくくなっている。

子供が、病気などで仕事が行きにくい環境の会社があるので見直してほしい女性が多いと思う

平等というのは主観的なものであると思う。平等の裏にある責任の大きさを考えると真の平等はありえないと思う。

子供の時から男の性質、女の性質の違いを理解させた上で男女平等教育をしないといけないと思う。(男はプラス、女はマイナス。考え方、行動、感情、野心、心理まったく違う。)

労働基準を男性の多い産業は、女性目線に整えていくこと。

男女ともに意識改革するためのセミナーの様な物を守る制度を作る。

男性、女性各々の特性を十分に家庭教育、社会教育する

三世代世帯の推進

性的に平等ではないので、いろいろな所で差はうまれる。

「平等＝同じ」ではないことを認識すること

女性の政治家、県のトップ、前例を作る。

いずれ、平等の時代になるでしょう。

自分より仕事が出来ないのに、家庭があるというだけで給料が高い男性社員。(年下)

女が男より強くなると、国がだめ、女は女、男は男

根本が違うので男女平等を全てはあてはまらない

平等とは何をもってそう云うのか理解できない。

男性、女性共に、長所短所があると思われ、とりあえず、高圧的だったり、人を陥れようとしたり、そういうタイプの人達が社会から消えるように、優しい人が増えるように、というか、万人が社会全体が善人で優しい人でいっぱいになるように、TV番組・ドラマ・マンガ等から、基本的に変えていかなければいけないかと思います。

平等な評価、その他の環境整備

男女の「区別＝差別」にならないような意識改革

ぜいたく思考になりすぎたのは、共働きの影響もあるのでは子供にしつけを教えない親が多くなり、ゆとり教育すぎて子供が、社会に出てから、我慢する事も出来ない子が多くなっていると思います。経済的に困って働く方は、共働きは賛成です。

※「その他」の記述は、誤字を含め可能な限り原本の表記に従った。

※ただし、地域や個人が特定される恐れのある単語は「□」と表記したほか、

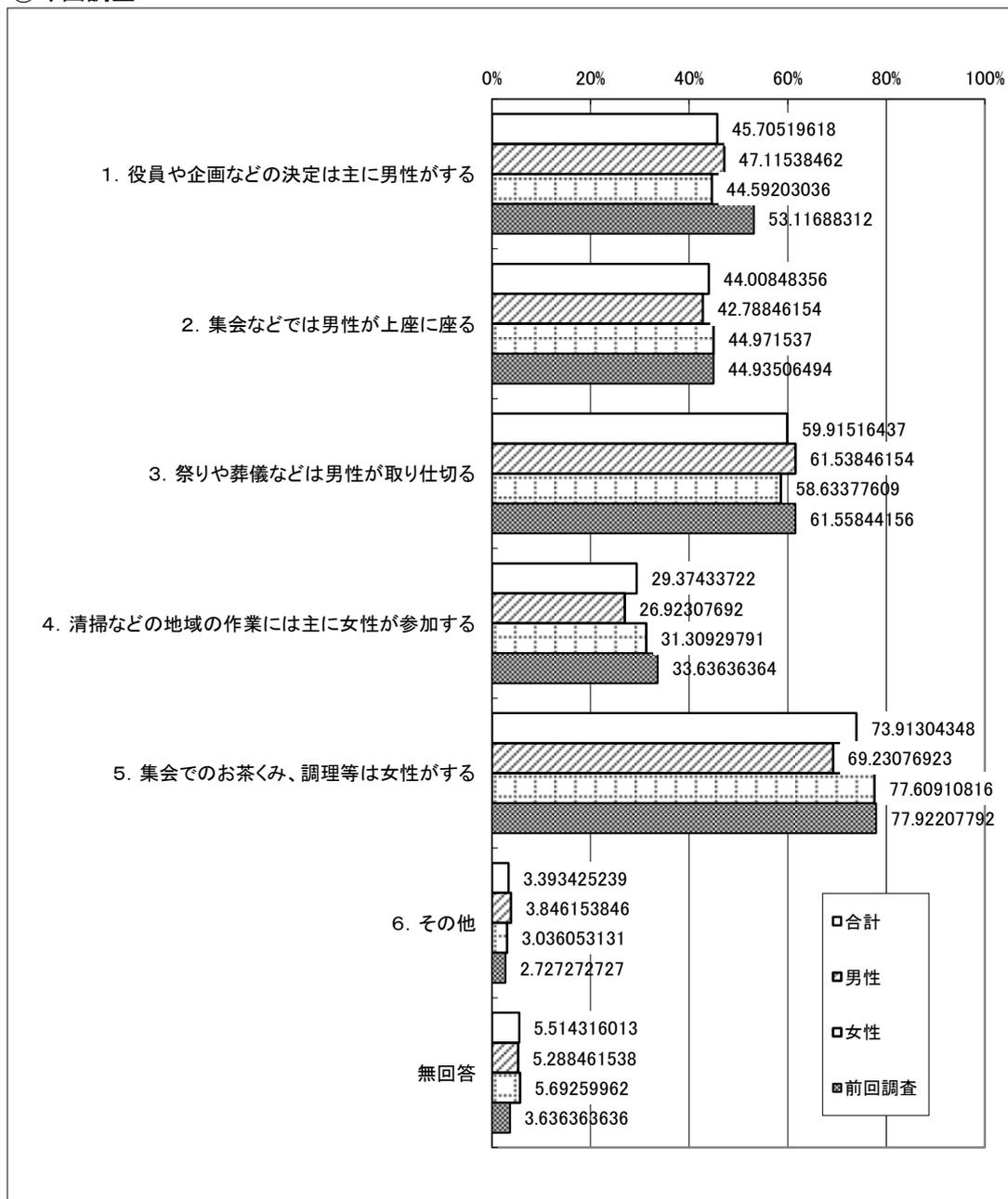
「わからない」「特になし」や、男女共同参画に関係ない記述は省略した。

問3 地域社会での慣習等について、あなたの地域では次のようなことがありますか。
 次の中からあてはまるものをすべて選んで○をつけてください。
 (N=943 男性=416 女性=527)

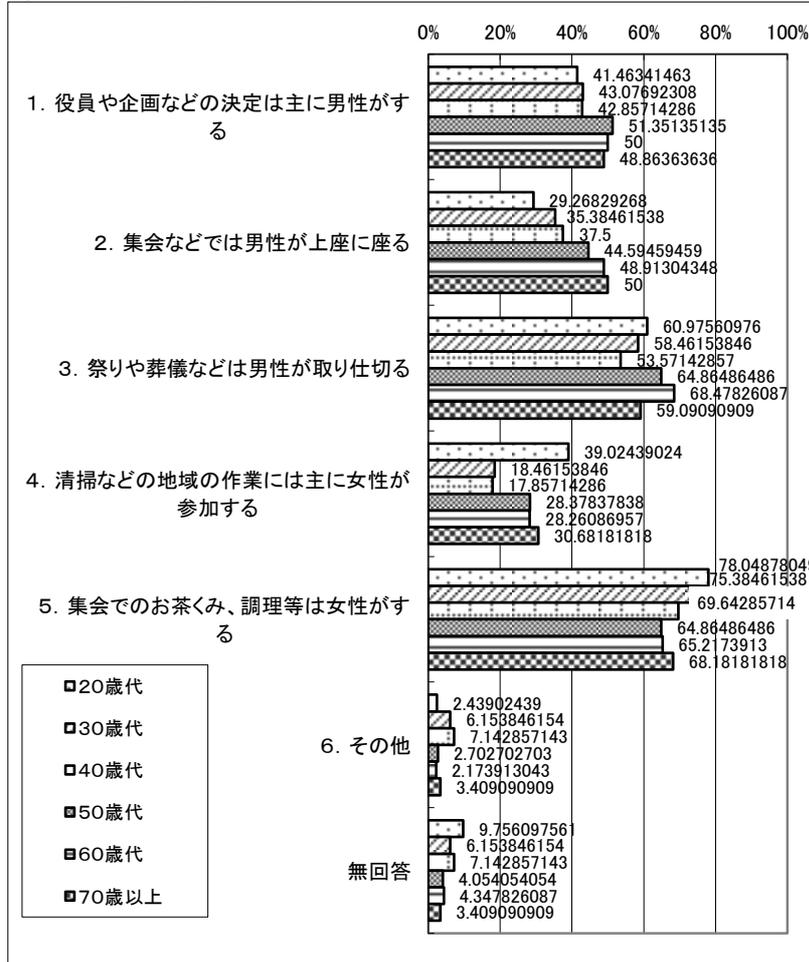
地域社会の慣習として最も多いのは「集会でのお茶くみ、調理等は女性がする」(73.9%)であり、次いで「祭りや葬儀などは男性が取り仕切る」(59.9%)、「役員や企画などの決定は主に男性がする」(45.7%)である。これは前回調査同様の傾向である。前回調査と最も差が大きかったものは「役員や企画などの決定は主に男性がする」(45.7%)であり、前回調査(53.1%)より7.4ポイント減少している。

年代別・男女別で見ると、男女問わず、「集会でのお茶くみ、調理等は女性がする」と回答したものが多く、すべての年代において6割を超えている。なかでも「女性20歳代」は90.5%と最も多かった。「集会などでは男性が上座に座る」と回答した男性は、年齢が上がるにしたがってその割合が増えている。

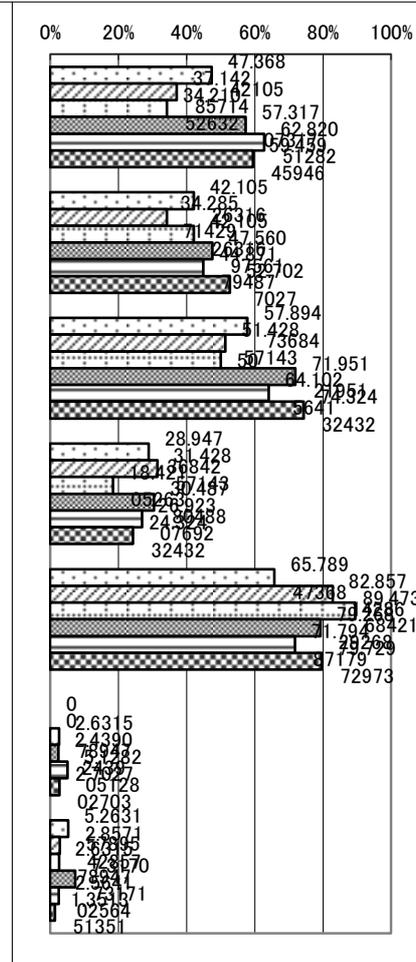
①今回調査



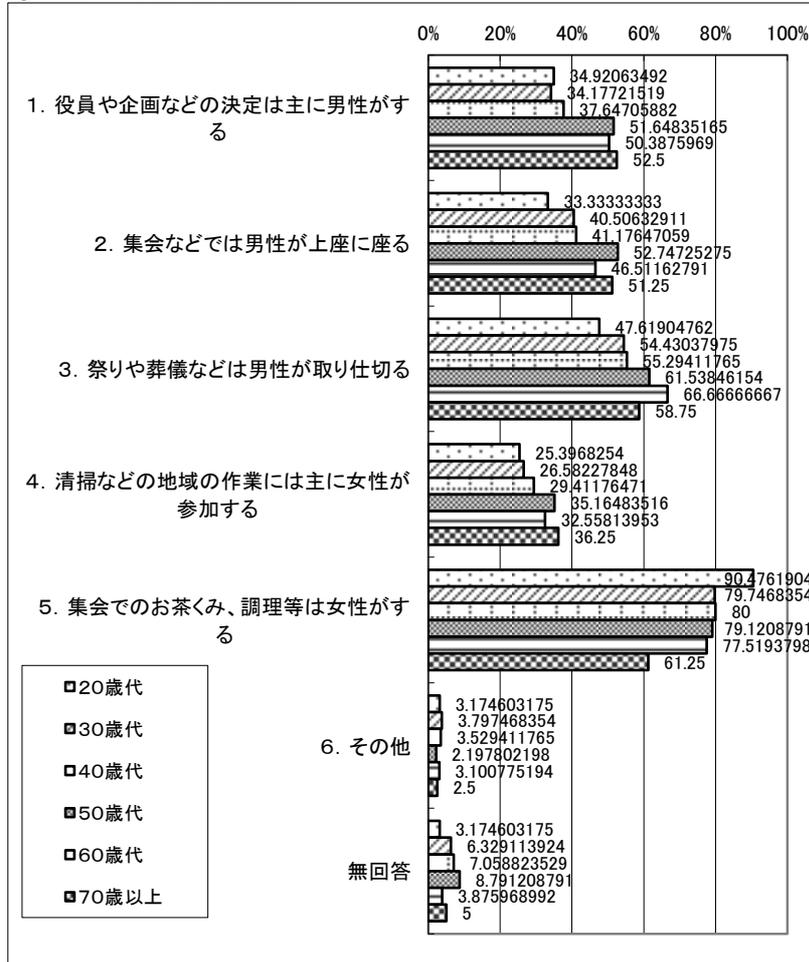
②今回調査 男性・年代別構成



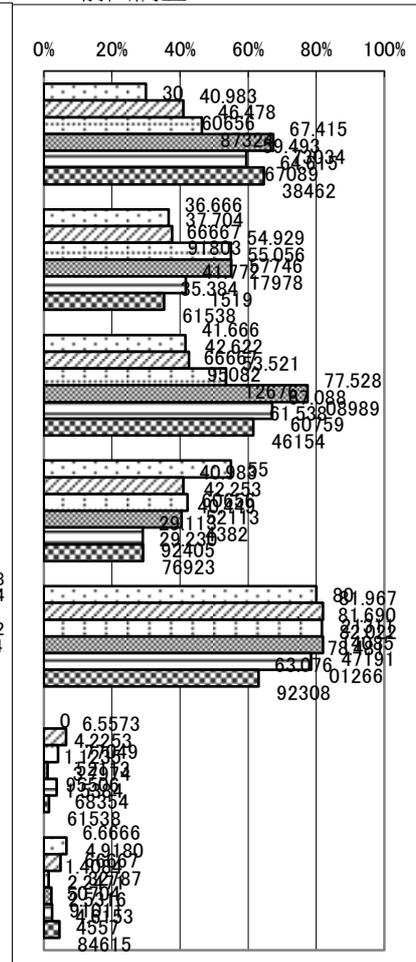
前回調査



③今回調査 女性・年代別構成



前回調査



「その他」の記述

義母が参加する為、どのような感じなのか分からない。
わからない

自治会の役員は公民館で酒を飲みたいがためにいろいろな行事を作り、口実をもうけている。行事のたびに準備、後片づけをするのは地域住民である。

慣習・しきたりに甘んじる女性や男性が多数のため男女平等とかではないと思う。(やりたい人がやればいいのか?)

あてはまるものなし

それぞれが得意とすることをして良いと思う

田舎なので、共同作業はあたりまえ。

あまり気にしない

女性が出ようとしなから男性中心になると思う。

むしろ男性が積極的です。女性は甘えています。

平等か女性が主にしてる時もある

若い年代は、男性も協力的になって来た。

あまり参加しないのでわからない

問の意図がかたよっている

地域や行政区の役員がほとんど男性

地域、学校行事、迎えなど家族のことは母親が担当する。

まだ参加していないのでわからない

地域の催の案内が女性だけの家に届かない。案内していない。

まだあまり参加していないのでわからない

質問内容に作為を感じるので答えづらい。

集会のあとかたづけは男性も積極的に行っています。

女性の意見を充分に取り入れ決定する。

女性は役員や催し物の参加が少ない。

決定権は男性である事が多いが、実行はその妻である事が多い

※「その他」の記述については、誤字を含め可能な限り原本の表記に従った。

※ただし、地域や個人が特定される恐れのある単語は「□」と表記したほか、

「わからない」「特になし」や、男女共同参画に関係ない記述は省略した。

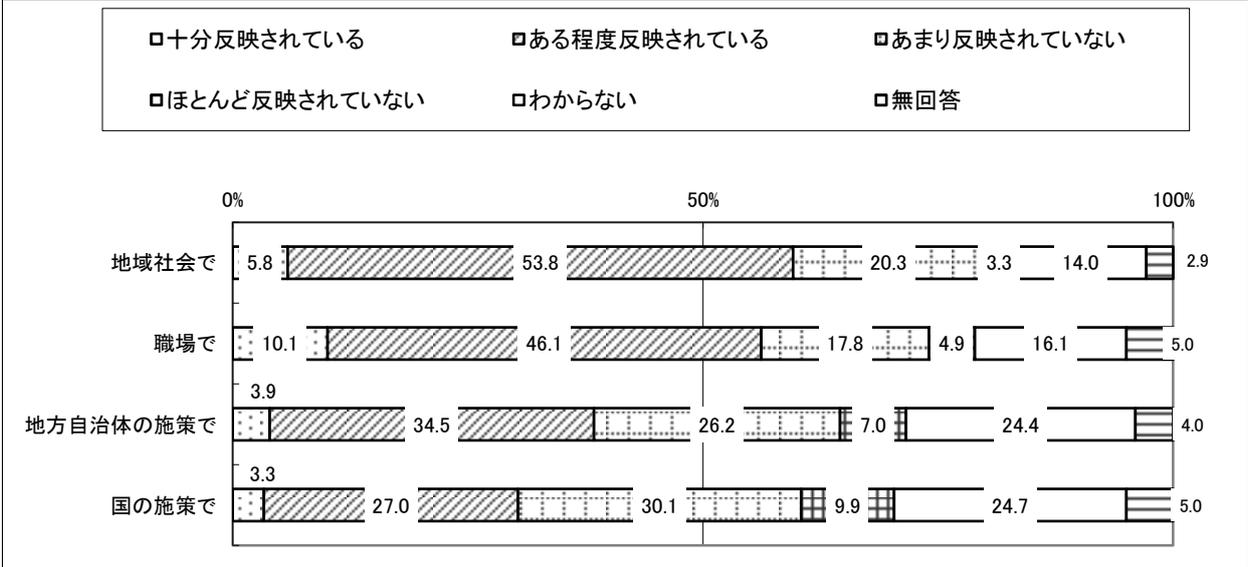
2 女性の社会参画について

問4 あなたは、次の分野において、女性の意見や考え方が反映されていると思いますか。
 次の①～④の項目ごとに1～5の中から1つずつ選んで○をつけてください。
 (N=943 男性=416 女性=527)

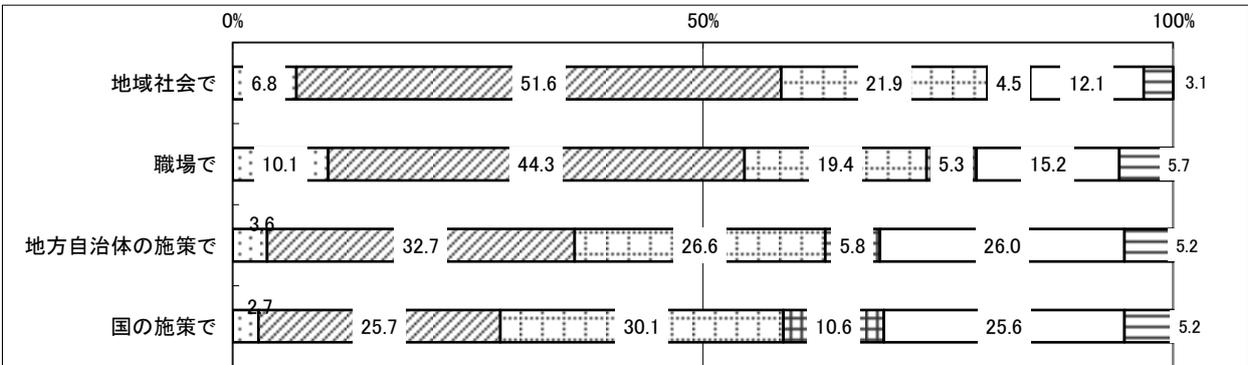
女性の社会参画について、女性の意見や考え方が『反映されている』と回答したものは、「地域社会で」は59.6%、「職場で」は56.2%、「地方自治体の施策で」は38.4%、「国の施策で」は30.3%である。
 『反映されていない』と回答したものは、「地域社会で」23.6%、「職場で」22.7%、「地方自治体の施策で」33.2%、「国の施策で」40.0%である。
 「地域社会で」と「職場で」は『反映されている』と回答したものは過半数を超えているが、「地方自治体の施策で」と「国の施策で」はいずれも30%台であった。
 この傾向は前回調査同様である。
 また、いずれも前回調査より増加している。

※「十分反映されている」または「ある程度反映されている」と回答したものを『反映されている』とし、「あまり反映されていない」または「ほとんど反映されていない」と回答したものを『反映されていない』とする。

① 今回調査



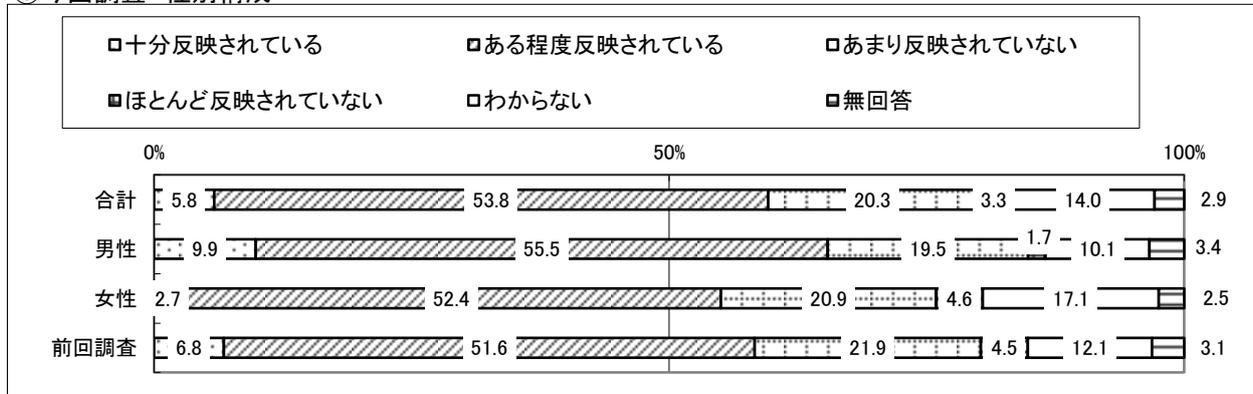
前回調査(N=770 男性=345 女性=425)



(1) 地域社会で

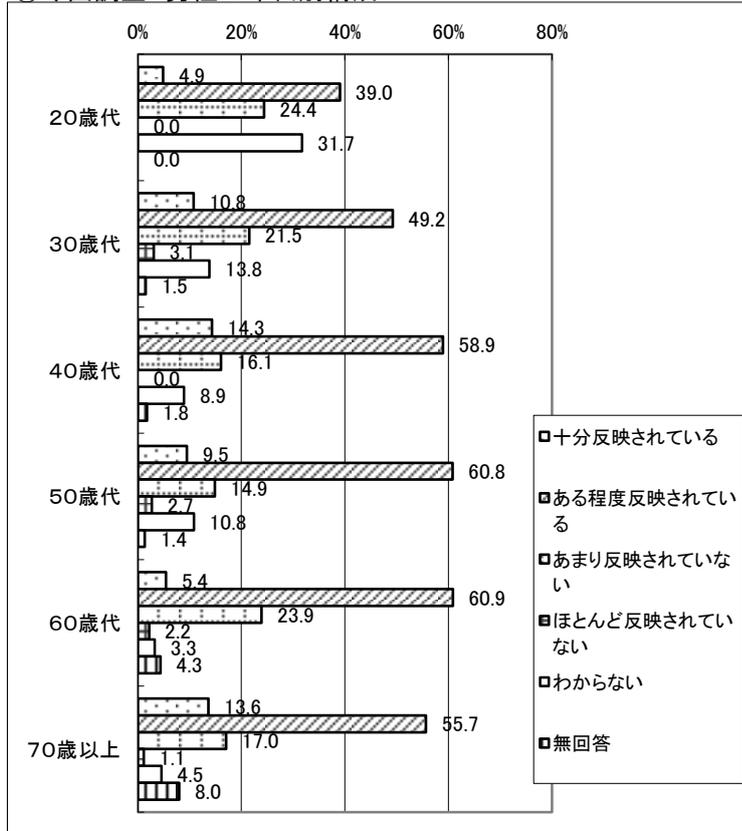
地域社会において、『反映されている』と回答した男性は65.4%、女性は55.1%であり、『反映されていない』と回答した男性は21.2%、女性は25.5%である。
 前回調査と比較すると、男性は『反映されている』(65.4%)が前回調査(66.7%)より1.3ポイント減少している。
 女性は『反映されている』(55.1%)が前回調査(51.1%)より4ポイント増加している。

① 今回調査 性別構成

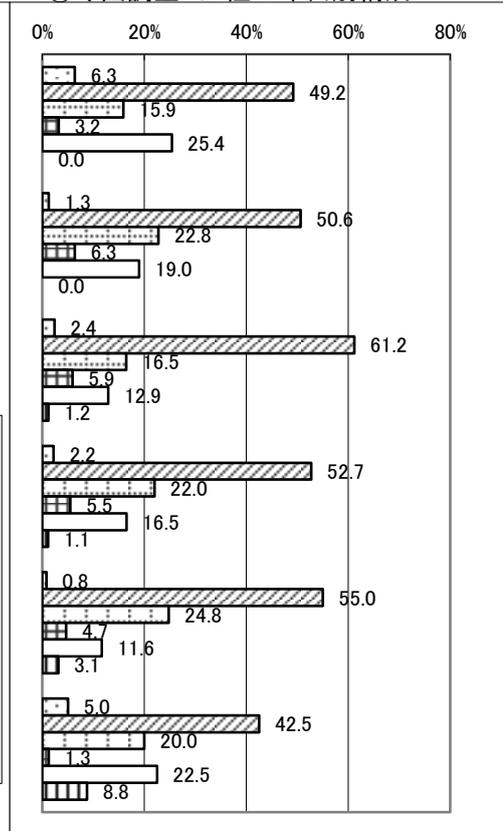


年代別・男女別にみると、男性では「20歳代」以外全ての年代で、『反映されている』と回答したものは6割を上回っているが、女性では「40歳代」以外全ての年代で6割を下回っている。
 男性では「40歳代」(73.2%)が最も多く、「20歳代」(43.9%)が最も少ない。その差は29.3ポイントである。
 女性では「40歳代」(63.6%)が最も多く、「70歳以上」(47.5%)が最も少ない。その差は16.1ポイントである。
 男性ほどの差はあらわれなかった。

② 今回調査 男性の年代別構成



③ 今回調査 女性の年代別構成



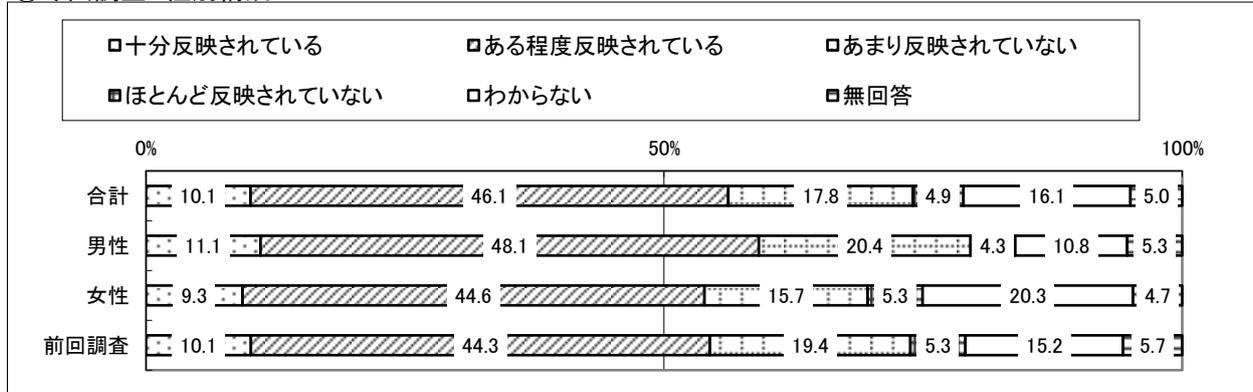
(2) 職場で

職場で『反映されている』と回答したものは、男性59.2%、女性53.9%である。

前回調査と比較すると男性(59.2%)は前回調査(58.0%)より1.2ポイント、女性(53.9%)は前回調査(51.6%)より2.3ポイントといずれも増加している。

『反映されていない』と回答した男性(24.7%)と女性(21.0%)では3.7ポイントの差があるが、これは前回調査(男性26.0% 女性23.5% 2.5ポイント差)よりも差が広がっている。

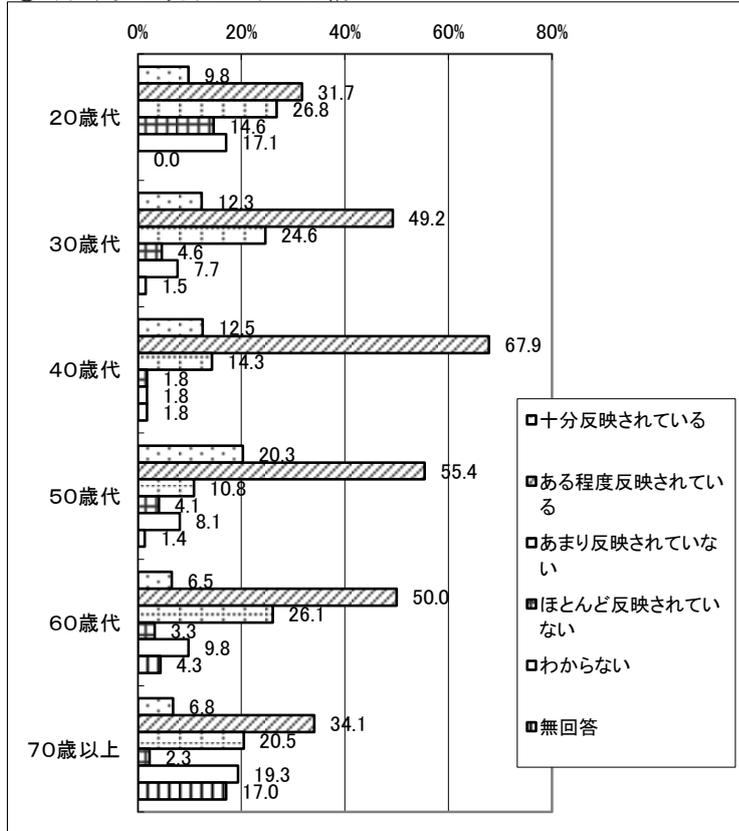
①今回調査 性別構成



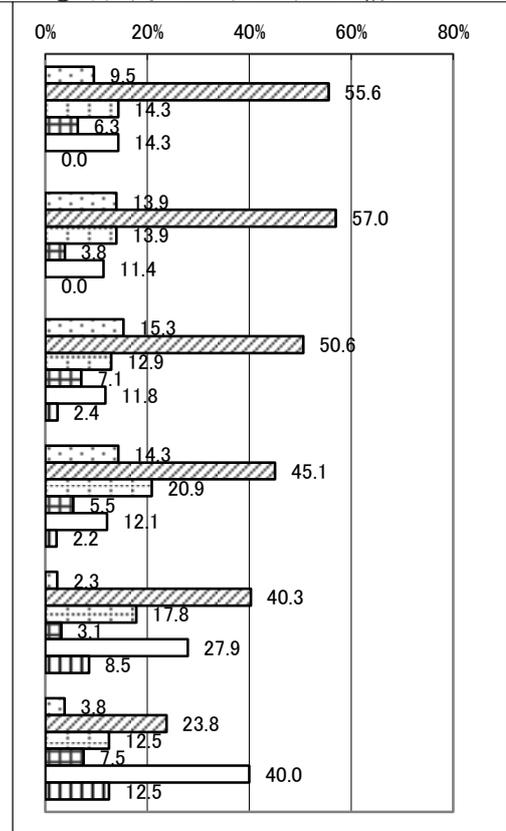
年代別・男女別でみると、男性で『反映されている』と回答したものは「40歳代」(80.4%)が最も多く、女性では「30歳代」(70.9%)が最も多い。

男女の差が最もあらわれたのは「20歳代」であり、男性(41.5%)と女性(65.1%)では、女性の方が23.6ポイント多い。

②今回調査 男性の年代別構成



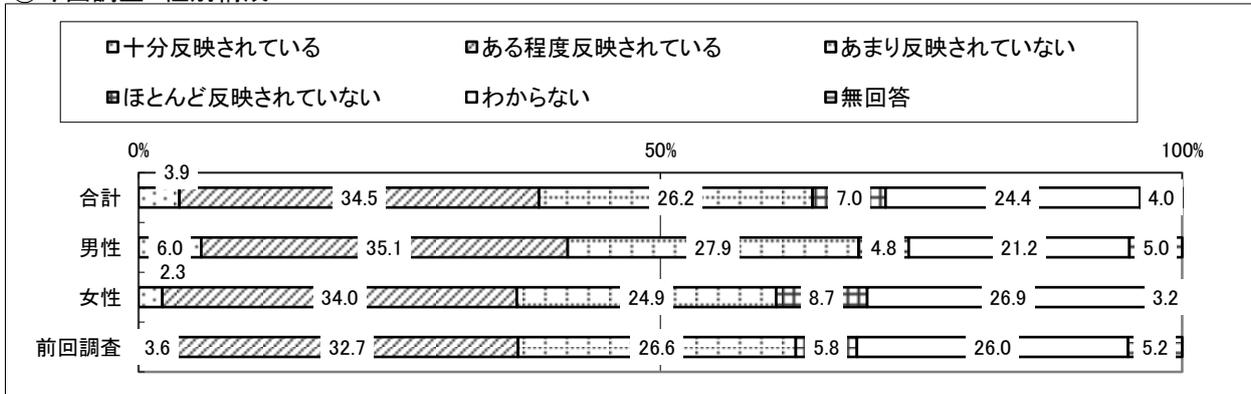
③今回調査 女性の年代別構成



(3) 地方自治体(県や市町村)の施策で

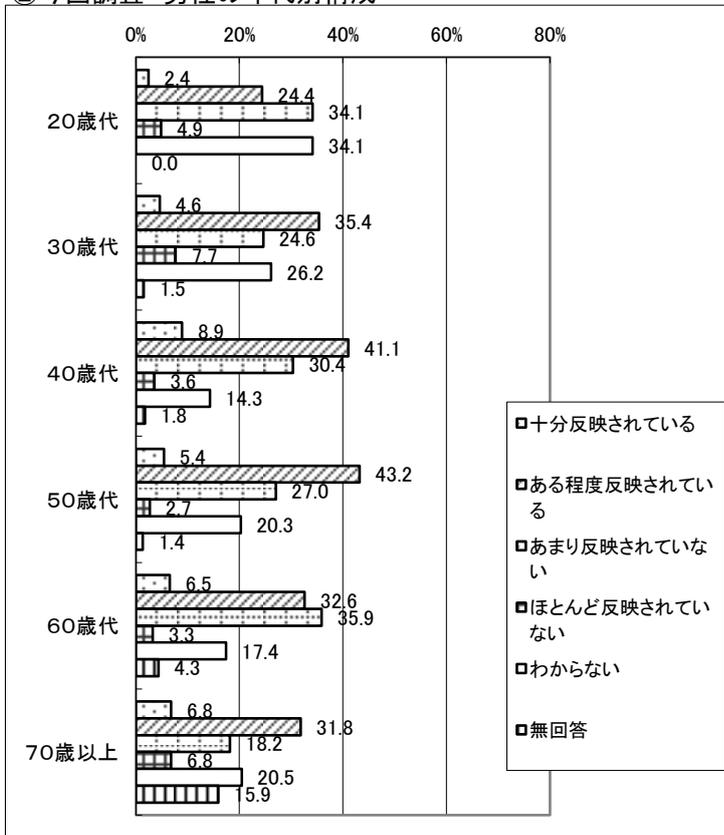
地方自治体(県や市町村)の施策で、『反映されている』と回答した男性は41.1%、女性は36.3%である。
『反映されていない』と回答した男性は32.7%、女性は33.6%である。
前回調査と比較すると、男性(今回調査41.1% 前回調査45.5%)では4.4ポイント減少し、女性(今回調査36.3% 前回調査28.9%)では7.4ポイントと大きく増加している。

①今回調査 性別構成

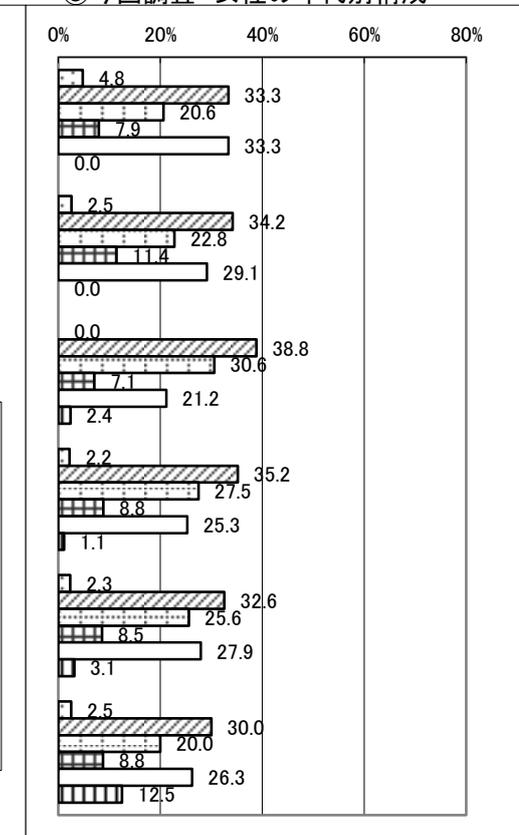


年代別・男女別にみると、男性で『反映されている』と回答したものが最も多いのは「40歳代」(50.0%)であり、女性では「40歳代」(38.8%)である。
『反映されている』と回答した女性はその年代においても、4割を下回っている。また、「40歳代女性」で『十分反映されている』と回答したものはなかった。
男女差が最もあったのは「20歳代」であり、男性(26.8%)と女性(38.1%)では、女性の方が11.3ポイント多かった。
「20歳代」以外全ての年代で、『反映されている』と回答したものは男性の方が多い。

②今回調査 男性の年代別構成



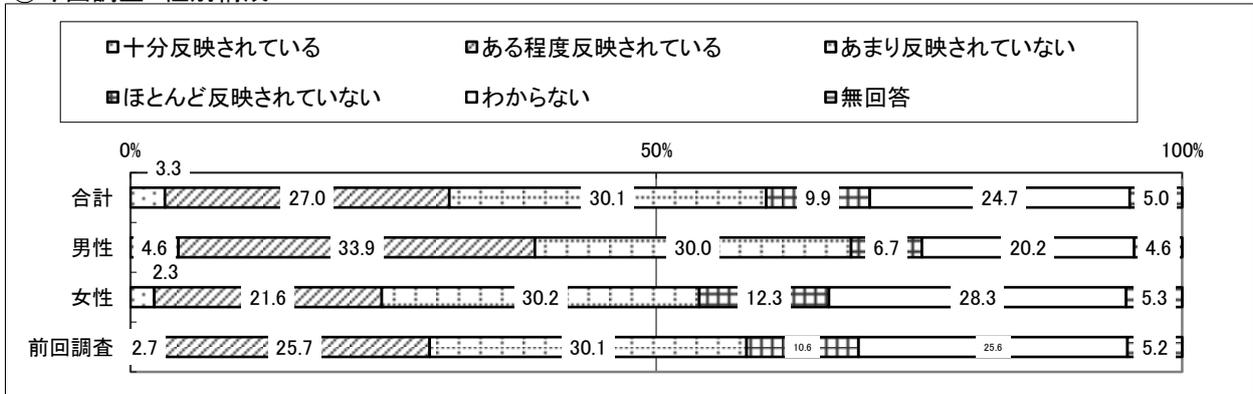
③今回調査 女性の年代別構成



(4) 国の施策で

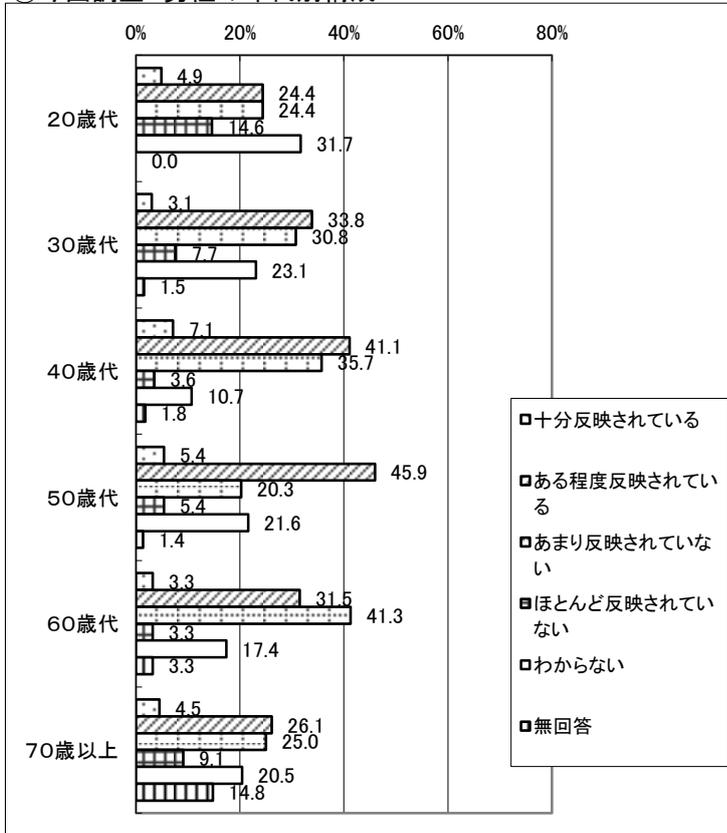
国の施策で、『反映されている』と回答した男性は38.5%、女性は23.9%である。
 前回調査と比較すると、男性(今回調査38.5% 前回調査37.1%)では1.4ポイント増加し、女性(今回調査23.9% 前回調査21.4%)では2.5ポイント増加している。
 『反映されていない』と回答した男性は36.7%であり、前回調査(38.8%)と比較すると2.1ポイント減少している。女性は42.5%であり、前回調査(42.4%)とほぼ同様である。

①今回調査 性別構成

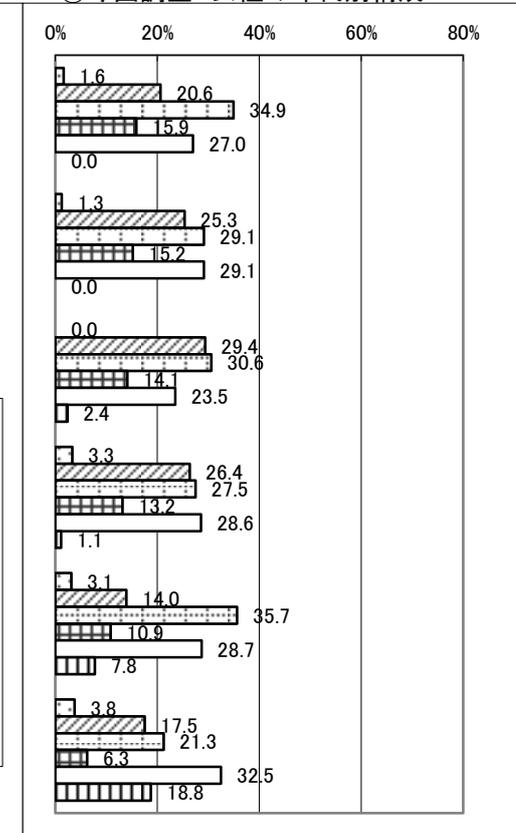


年代別・男女別にみると、男性で『反映されている』と回答したものが最も多いのは「50歳代」(51.3%)であり、次いで「40歳代」(48.2%)と続く。
 女性で『反映されている』と回答したものが最も多いのは「50歳代」(29.7%)であり、次いで「40歳代」(29.4%)である。男女共に同様の傾向となった。
 男性で『反映されている』と回答したものが少なかったのは「20歳代」(29.3%)であり、最も多かった「50歳代」(51.3%)との差は22ポイントである。また、女性で最も少なかったのは「60歳代」(17.1%)であり、最も多かった「50歳代」(29.7%)との差は12.6ポイントであり、男性よりも女性の方が差異が少ない結果となった。

②今回調査 男性の年代別構成



③今回調査 女性の年代別構成

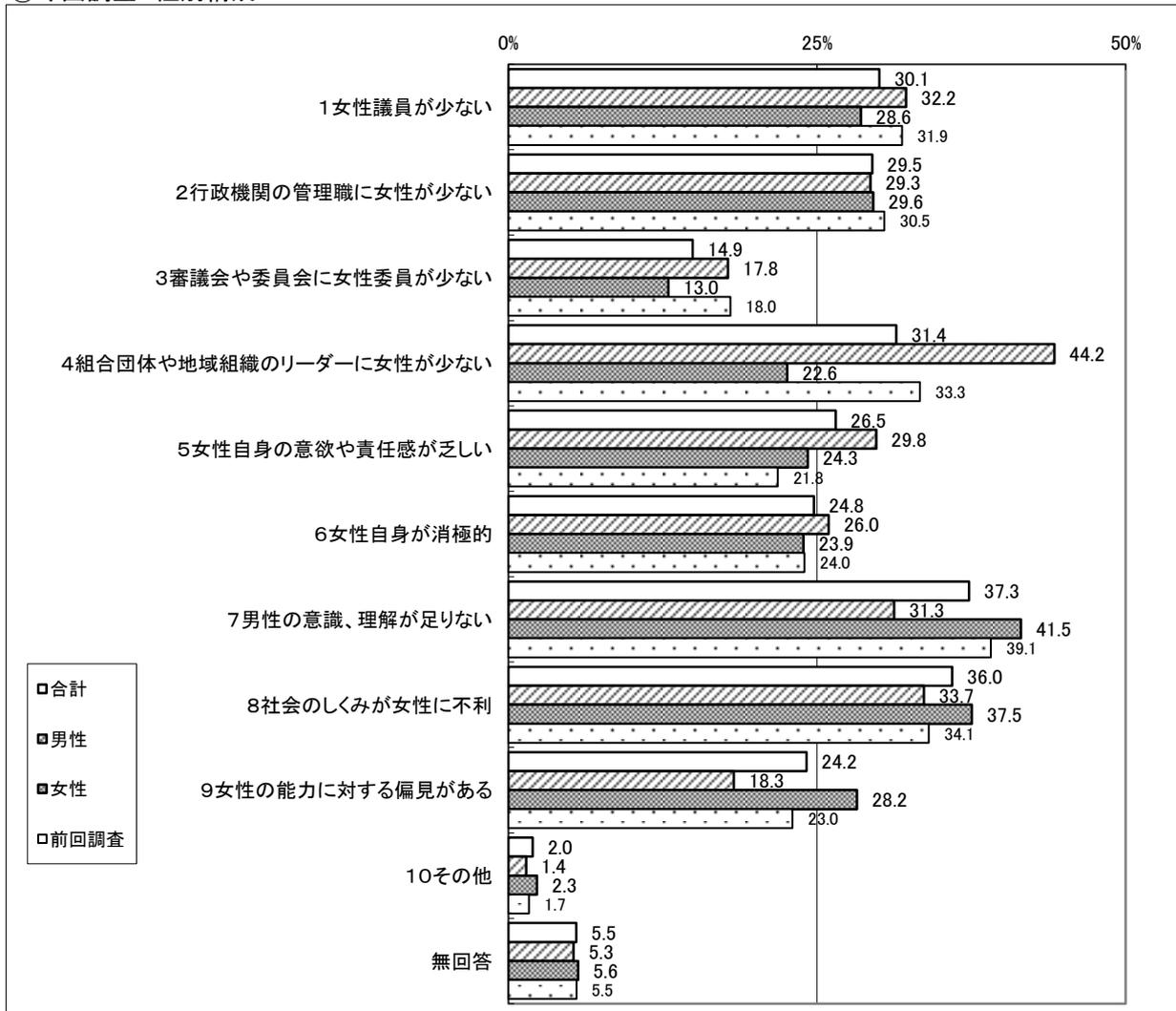


問5 (問4で「3あまり反映されていない」または「4ほとんど反映されていない」と答えた項目があった方にお伺いします)
 反映されていない理由は何だと思えますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。
 (N=509 男性=208 女性=301)

女性の意見や考え方が「あまり反映されていない」または「ほとんど反映されていない」と回答したものに、その理由について尋ねた。
 最も多かったのは「男性の意識、理解が足りない」(37.3%)であり、次いで「社会のしくみが女性に不利」(36.0%)、「組合団体や地域組織のリーダーに女性が少ない」(31.4%)と続く。
 これは前回調査と同様の傾向である。

男女別にみると、男性では「組合団体や地域組織のリーダーに女性が少ない」(44.2%)が最も多く、次いで「社会の仕組みが女性に不利」(33.7%)と回答したものが多く、女性では「男性の意識、理解が足りない」(41.5%)、次いで「社会の仕組みが女性に不利」(37.5%)であった。

①今回調査 性別構成



「その他」の記述

男性と同じ立場で意見を言えるはずの女性議員が多くの問題を起こすせい。

国がどうしたいのか分からない。

自分の勤めている会社は女性管理職を置かない方針らしい。会社のしくみが女性に不利
 各機関の掲げる理想が、実態とかけ離れている部分があると思う

男女平等というより、万人が優しい人になれる社会づくりをしなければならず、世に中からイジメや犯罪、パワーハラスメント・モラルハラスメント等が消えるように、社会を作り直す=(やんわりとメディア等から)教育しなおす必要があると思います。

女性は結婚、出産で家事、子どもの世話をしなくてはならないから。

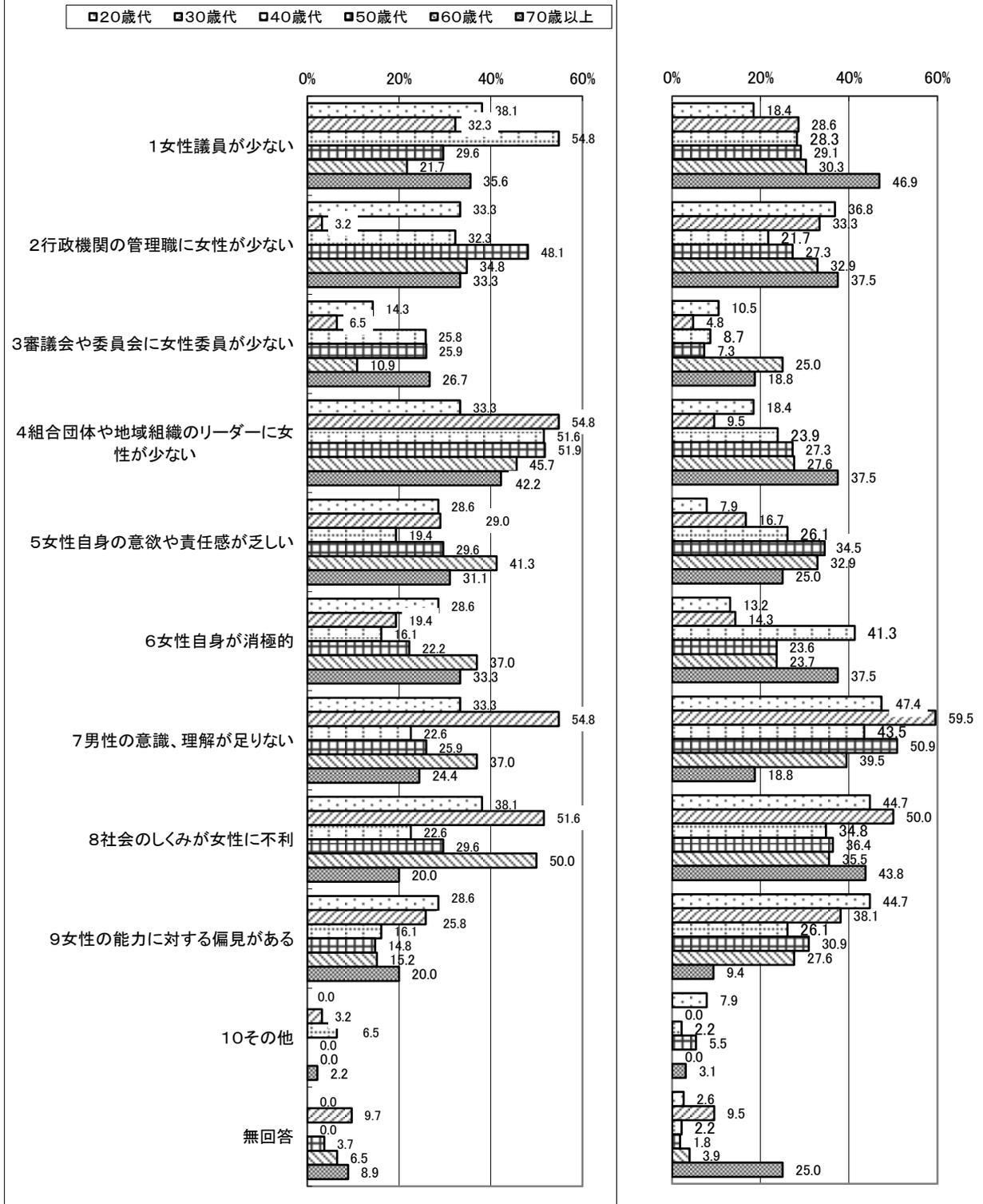
※「その他」の記述については、誤字を含め可能な限り原本の表記に従った。

※ただし、地域や個人が特定される恐れのある単語は「□」と表記したほか、「わからない」「特になし」や、男女共同参画に関係ない記述は省略した。

年代別・男女別にみると、すべての年代で5割を超えた項目はなかった。「組織団体や地域組織のリーダーに女性が少ない」と回答したものは、男性では「30歳代」(54.8%)、「40歳代」(51.6%)、「50歳代」(51.9%)の3つの年代で5割を超えた。女性では最も多い「60歳代」でも37.5%であり、4割を超えていない。「男性の意識、理解が足りない」は女性では「70歳以上」(18.8%)以外すべての年代で3割を超えているが、男性では「40歳代」(22.6%)、「50歳代」(25.9%)、「70歳以上」(24.4%)の3つの年代で3割を下回っている。

②今回調査 男性の年代別構成

③今回調査 女性の年代別構成



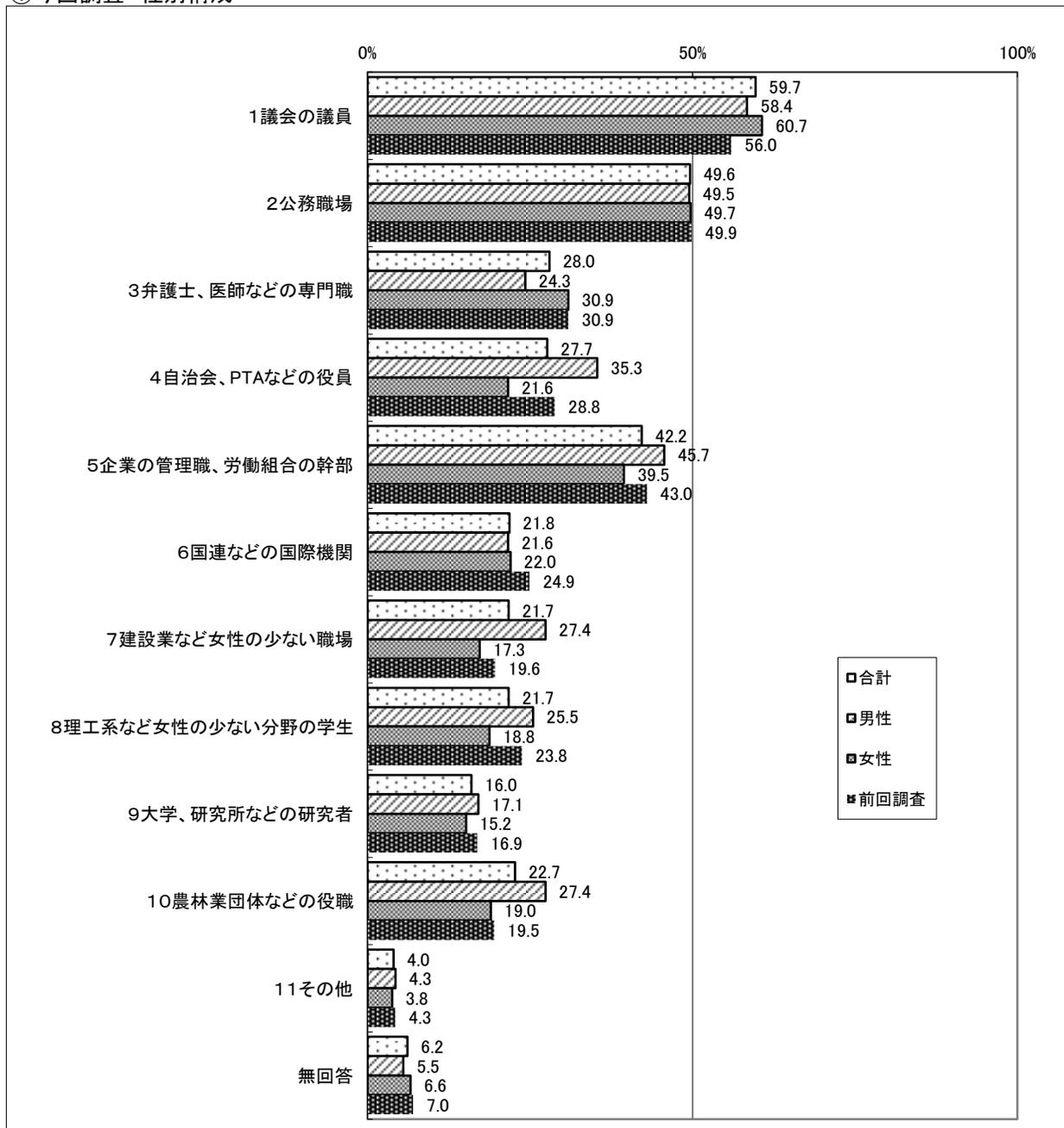
問6 あなたは、今後、特にどのような分野で女性の参画が進むべきだと思いますか。次の中からあてはまるものをすべて選んで○をつけてください。
(N=943 男性=416 女性=527)

今後どのような分野で女性の参画が進むべきだと思うかについては、「議会の議員」(59.7%)が最も多く、次いで「公務職場」(49.6%)、「企業の管理職、労働組合の幹部」(42.2%)と続く。

これは前回調査と同様の傾向である。

男女別にみると、最も男女差が大きかったのは「自治会、PTAなどの役員」であり、男性(35.3%)と女性(21.6%)では、男性の方が13.7ポイント多い。次いで「建設業など女性の少ない職場」であり、男性(27.4%)と女性(17.3%)では、男性の方が10.1ポイント多い。

①今回調査 性別構成

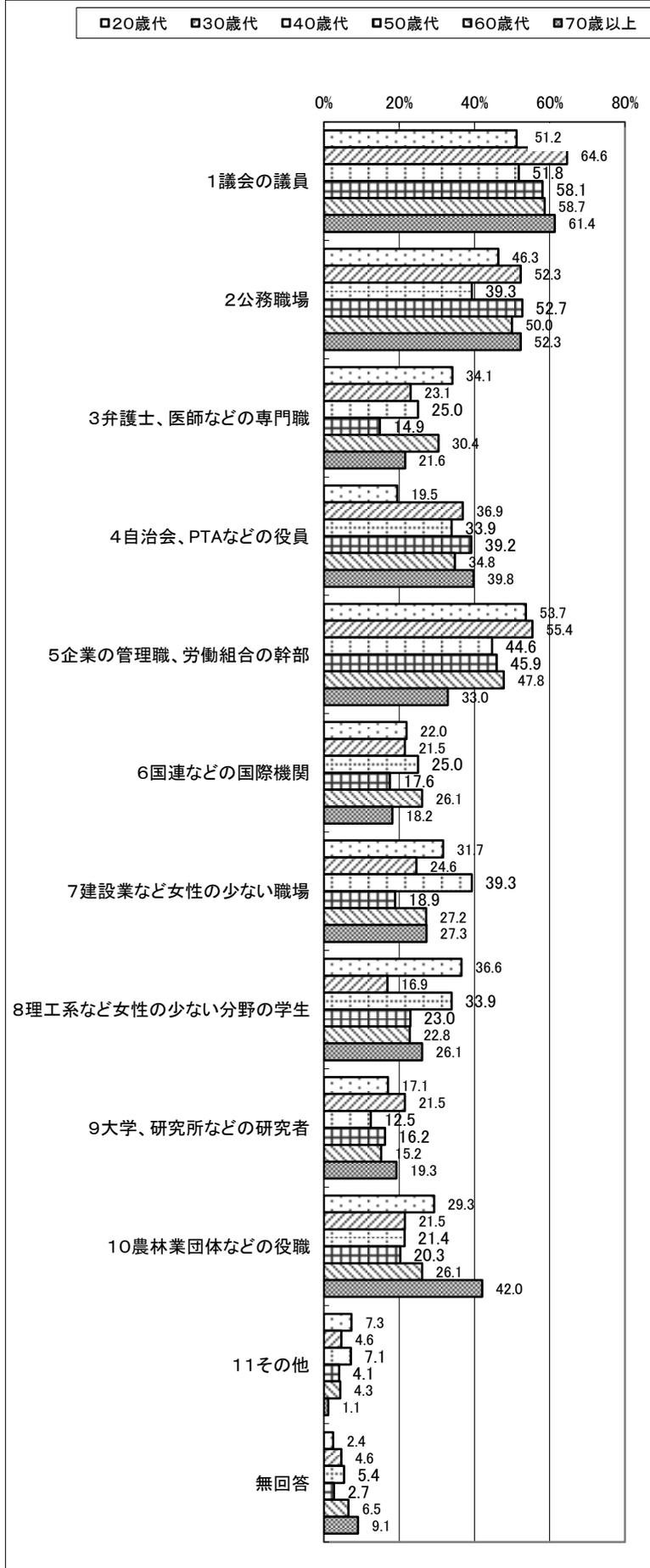


「その他」の記述

機会が平等に与えられているのに、その意欲がある人が少ない結果の表れである。	1
力仕事	1
力仕事など限界あることもあるがなるべく全てにおいて参画が進むべきだと思う	1
興味がない	1
警察、防衛	1
漁業従事の女性にも漁業権	1
すでに十分参画が進んでいると思います。	1
口を動かさない仕事もして頂く	1
「女性」と言うよりは、自分ができる範囲・能力でできる、やりたい仕事ができるかどうか。	1
適性があれば男女にこだわらない	1
体力、肉体的条件を必要とする分野	1
参画が進んでも意見が取り入れられないと意味ないが…男性からの圧力もなくす	1
女性の参画の前にワーキングプアなどの問題を解決するべき。	1
どの分野でもよい。その人達の考え方で差別なくして。	1
職人と呼ばれる分野	1
バス産業	1
どの分野でも人間としての能力を認め合う機会をつくる	1
市町村審議会など決定権のあるところ	1
よく分からない。参画が進む基礎がほしい(支援、家庭内労働への協力と理解)	1
すべて	1
人こうがすくなくしぎ	1
男女問わず能力がある人がつくべき！！男女の比率が問題とは思わない。	1
女性が参画すれば解決するものではないと思います。アイドル、美人議員が増えても政策が変わるわけではないし。	1
特にどの分野というのではなく能力があればその分野へ進むべきと考える。	1
女性は家庭を守るのが本意だと思います。職につくのは良くないです。	1
すべての分野で	1

※「その他」の記述については、誤字を含め可能な限り原本の表記に従った。
 ※ただし、地域や個人が特定される恐れのある単語は「□」と表記したほか、
 「わからない」「特になし」や、男女共同参画に関係ない記述は省略した。

②今回調査 男性の年代別構成



③今回調査 女性の年代別構成

